

石川 中央会報

石川県中央会会報

2012

No.3

巻頭ゼミナール

- ・メトロ・セクシャル世代をどう取り込むか
- ・フェイスブックを活用「伝える」と「伝わる」
～コミュニケーションを図りファン増やす～

通常総会開催

(本会・青年中央会・中央会女性部・事務局協議会)



石川県中小企業団体中央会

石川県中央会会報

2012

No.3

石川県 中央会会報

題字

故 安田隆明 名誉会長

巻頭ゼミナール

2 「メトロ・セクシャル世代をどう取り込むか」

神戸国際大学経済学部 教授 中村智彦氏

5 フェイスブックを活用「伝える」と「伝わる」 【中小企業のための発信力講座②】 ～コミュニケーションを図りファン増やす～

株式会社エイチツーオー 代表取締役 北陸フェイスブック研究会 会長 加茂谷慎治氏

中央会事業だより

9 平成24年度表彰式並びに第57回中央会通常総会を開催

11 おめでとうございます～中央会表彰式 受賞の方々～

14 中央会女性部通常総会を開催

15 青年中央会通常総会並びにビジネス交流会を開催

16 全国青年中央会通常総会並び創立20周年記念式典へ出席

全国レディース中央会通常総会・組合女性部活性化研究会へ出席

17 「地域中小企業の人材確保・定着支援事業」経過報告

19 ー住宅の新改築で地球温暖化対策はバッチリ！ー

住宅エコ改修に関する技術講習会を開催

石川県中小企業団体事務局協議会 通常総会を開催

20 第64回中小企業団体全国大会へ提出の要望事項を決定

経済・組織・企画の各委員会を開催

東海・北陸ブロック中央会事務局代表者会議を開催

News

21 新聞掲載記事より

石川県鮪商生活衛生同業組合七尾支部／石川県染物商工業協同組合
石川県菓子工業組合青年部金沢葉友会／和倉温泉旅館協同組合青年部
石川県公衆浴場生活衛生同業組合／伏見台商店街振興組合青年部
金沢仏壇商工業協同組合／石川県菓子工業組合青年部石川県菓子工業青年会
茶レンジの会（石川県茶商工業協同組合）／豎町商店街振興組合
協同組合のともん

国際協同組合同年

組合情報 Pick up !

27 組合運営Q & A

28 ご確認ください！金沢地方法務局 不動産登記／商業・法人登記の管轄区域一覧

29 Pick up ! 全国の先進組合事例＝平成23年度組合資料収集加工事業報告書より＝

①地場産業：石川県九谷陶磁器商工業協同組合連合会 ②共同購入：丹後機械工業協同組合

31 決算関係書類等の届出をお忘れなく

お知らせ

32 夏の思い出をひとときわ鮮やかに彩ろう。

～いしかわの伝統工芸実演会 夏休み特別企画「加賀友禅 彩色体験教室」参加申込み受付中！～

32 個別専門相談室開催のご案内

33 交流ゴルフ大会開催のご案内

33 被災地復興支援～岩手県中央会からのPR

34 第64回中小企業団体全国大会(宮崎県)参加者募集!

35 無料で専門家を派遣します。

36 県内の情報連絡員報告(6月)

お気軽にご活用ください!

43 暑中お見舞い

59 くみWai 広場(和倉温泉旅館協同組合)



エサを食べているジンベエザメの
とじま水族館「ジンベエザメ館 青の世界」では餌を食べる様子や水面を泳ぐジンベエザメを間近で見ることができます。
(写真提供:とじま水族館)



【足湯】
湯つくりパーク(妻恋舟の湯)和倉温泉の海に面した場所に、足湯施設「湯つくりパーク(妻恋舟の湯)」があります。和倉温泉と能登島をつなぐ能登島大橋と、穏やかな海を眺めながら、身も心も癒されます。



七尾西湾の夕日

メトロ・セクシャル世代をどう取り込むか

中村智彦氏／神戸国際大学経済学部 教授

草食系だの、若者が・・・だので誤魔化されていないか

先日、テレビ局で放送前の化粧をメイクさんしてもらっている時に、「最近では男性の化粧に対する関心が高まっているよね」という話で盛り上がった。私のゼミの学生たちとは、毎週、流通関係の新聞を論評する時間をもっているのだが、その際に香料付きの柔軟剤と男性向けの高価格帯シャンプーの売り上げが伸びているという話題になった。学生たちの反応を見てみると、「実はいろいろな香りが好きで、柔軟剤も数種類買ってきて、その日の気分で変えて使っています。」という者や、シャンプーも数名が高価格帯のシャンプーを使用していることが分かった。ちなみにうちのゼミの学生は全員男性である。

このところ、「草食系男子」という言葉も流行り、「まったく最近の若い男子は・・・」と嘆く意見も多く聞かれる。しかし、そうした傾向は日本だけのものであり、なおかつ若い男性だけのものだと断言するのは早いか。そして、それはみなさんの事業に関係のないことなのだろうか。

メトロ・セクシャルの広がり

「メトロ・セクシャル (Metrosexual)」という言葉がある。1994年にイギリスの作家マーク・シンブソン氏が作った言葉である。この言葉には、性的志向性については含まれていない。「同性愛者かどうかは問題ではない。自分自身を愛する対象として捉えているという点が重要だからだ」としている。つまり、「メトロ・セクシャル」の特徴は、「都市部に居住し、女性のようにファッションやスキンケアなどに興味を持ち、自分自身の生活そのものを楽しもうとする男性」のことを指すのだ。

さて、こうした傾向が増加しているのは、全世界的な傾向のようである。特に顕著なのは化粧品業界である。その中でも大きな伸びを示しつつあるのが、スキンケア部門である。アメリカでの男性向けスキンケア部門の売り上げは、ここ数年、非常に堅調であり、2011年度の売上高の伸びは11%を記録している。最新の調査によれば、アメリカ人の18歳以上の男性の10人に9人が、なんらかのスキンケア商品を使用しているとされており、特に、20歳代から30歳代前半と50歳代の男性の購買意欲強いことが明らかになっている。アメリカでの化粧品事業の中でも男性向け化粧品の売上高は、2006年に22億ドルだったものが、2012年度は26億ドル、さらに2016年までに

は32億ドルまで成長すると、シカゴの調査会社Mintel社は予測しているのだ。

こうしたアメリカでの男性化粧品の市場拡大の中で、おもしろい現象も現れている。つまり、女性向け化粧品とのPRの仕方の違いである。女性向けの化粧品の場合は、華やかなイメージや豪華なイメージが重視されるが、男性向け化粧品ではむしろ科学的な効果や、ともすれば野性的なイメージを強調する必要があると化粧品メーカーは見ているのだ。

実は日本でも起こっている変化

日本に目を向けても、男性向け化粧品やスキンケア商品の増加に気がつくことだろう。しかし、先に述べた高価格帯シャンプーなどは典型的で女性向けの商品とは異なり、科学的な説明や効果をうたう宣伝文句が多く使われている。つまり、女性向けの商品をそのまま転用することは、製品特性としては可能だが、広告宣伝の面では難しいということなのだろう。

ところで、これらの傾向を商業や観光関連では無視することはできないだろう。たとえば男子学生たちと話をしても、銭湯や温泉というものに抵抗感を感じると話す学生は少なくない。従来、トイレや浴室などに神経質なのは女性客であると言われてきたし、確かにそれは正しかったのかも知れないが、今やそれは男性客でも同じだということである。男性客が中心であるから、多少不衛生でも大丈夫だというのは、今後の集客に支障を及ぼす可能性があることを自覚しなくてはならない。

つまり、従来、女性向け商品だけと考えると販売してきた場合にも、今やそれは男性向け商品としての市場性も持ち始めていると気がつかねばならない。

「何か記念になるものをもっとも、男性向けのものは数も少なく、欲しいものが見つからない。」ある中小企業の50歳代の経営者と話をしていたときに、こういった話になった。装飾品などを見ても、女性向けの商品が中心であり、男性向けの商品は非常に少ない。しかし、最近、周囲を見ても、カフスや襟に付けるピンなどに凝っている男性が増えてきている。もちろん、それにともなって男性向けの商品も増えつつあるが、まだまだ広がってきていないのも事実である。日本でもおしゃれに気を使う男性が確実に増えているのだ。

世代で切っては勘違いする

実は、メトロ・セクシャルは、性的志向で分け

られているのでもなければ、世代で分けられているものでもないのである。先に述べた化粧品業界で注目されているものには、家庭でのアンチエイジング（加齢対策）向けの商品群がある。アメリカのリサーチ会社の調査によれば、全米でのスキンケア市場のうち約7割がアンチ・エイジング商品で占められており、15億ドル規模の市場となっている。さらに、家庭用のアンチ・エイジング向けの機器類の売り上げも大きな伸びを記録しており、2011年には10億ドル規模にまで成長していると見られている。

「男性向けの化粧品なんて若者向けだろう」、「オンナコドモ向けのサービスや商品を男性が喜ぶなんて考えられないね」などと言っていて大丈夫だろうか。特に今年は、1947年生まれの団塊世代の人たちが完全リタイヤする。定年を延長し、退職金ももらい、年金をもらい始める高齢者は急増するのである。これらの人たちを取り込むことは、商業や観光業にとっては重要なことであることは理解できるだろう。

では、彼らにどのようなサービスや商品が必要なのであろうか。現在のそして、これからの高齢者は、従来のいわゆる高齢者とは大きく異なってくる。まず、第一に、第二次世界大戦後の消費拡大社会の中で青春時代、中高年時代を過ごしてきた世代である。製品やサービスの品質や価格には非常に厳しい目を持っている。第二に、都市型の生活を地方部でも享受してきた世代であることも理解しなくてはならない。よく海外から来た人たちが、日本では地方部に行っても、大都市部と同じレベルの生活をできることに驚くことがある。言ってみれば、小さな日本では国全体が大都市だと考えてもよいほどの生活水準を可能にし、その生活を過ごしてきたのが団塊の世代であるのだ。第三に、自らの生活を楽しむという志向性が強く、またそれだけの金銭的な余裕を持っている人が多いという点である。

若い世代はもちろんであるが、50歳代以上の世代の男性でも、「女性と変わらずファッションやグルメに関心が高く、自分の生活を楽しみたいと考えている」という人たちが増加しているのだ。にも関わらず、我々の周りではそれを「若い世代の女性化、中性化」などというともすれば揶揄することで終始してしまっていないだろうか。実は中高齢者層でもメトロ・セクシャル化が進んでいるのだ。

メトロ・セクシャルの特徴は若者だけのものではない

自分の生活を楽しむための消費を厭わないという傾向は、なにも若者だけに見られることではないだろう。中高齢者の観光客の服装や持ち物を見ても、かなりのこだわりをもった男性たちが増えていることを理解させるに充分である。

たとえば今年65歳を迎える人たちは、1980年代、バブル景気の際には30歳代後半だったはずだ。当時、

好景気の中でそれまでの世代とは違い、ファッションやグルメなどを楽しむことを経験した世代である。企業の国際展開の本格化した時期にも当たっており、海外出張や海外駐在などの経験を持っている割合も、それ以前の世代よりも多い。「家庭も顧みず、趣味も持たず、大した贅沢もすることなく会社員人生を全うした」というそれ以前の男性高齢者像とは異なっている。むしろ、「現役時代に好景気を経験し、ファッションやグルメ、趣味などを楽しむことを経験してきた」世代であり、仮にその後大きな苦労を経験していたとしても、自分自身の生活を楽しむというライフスタイルを体得しているのだ。健康食品のCMを見ても判るように、女性と同様に自身のスタイルや外見にもこだわり、そこに投資することは当然のことだと考えている。つまり、メトロ・セクシャルの特徴を持ち始めた最初の世代が、65歳前後の世代といえる。

このように若い時代に贅沢さを経験し、高齢者になった現在、年金も手にして再び旅行やショッピングに出てきた男性高齢者は、生まれてこの方、不況の中で人生を過ごしてきた若い男性よりも手強い存在かも知れない。

対メトロ・セクシャル戦略

拡大するメトロ・セクシャル市場にどのように対応すべきなのだろうか。まず、男性用、女性用という区分けの見直しが必要だろう。女性用として開発された商品の中に、男性を新たな市場とする可能性のあるものが含まれていることが少なくない。問題は、それでもなお男性は女性用のものを手にすることに抵抗感があるという点である。

だとすれば、まず第一には中身はほとんど変わらないとしても、女性向けと名称やパッケージを違えることが考えられる。第二には、男性向け、女性向けという発想そのものからの脱却も考えられる。いわゆるユニセックス向けを目指し、名称やデザインも自然志向であったり、洗練された都会的なイメージ統一するなどして、男女を問わず手に取れるようなものにすることが大切になる。いわゆるご当地コスメと呼ばれる地域特産品を活用した化粧品ブームの背景には、実は男性も利用できる雰囲気を持っているからではないだろうか。第三には、チャレンジする動機付けること、恥ずべきことではないというキャンペーン広告を打つことも考えられる。例えば「男だってかわいいものには弱い」とか、「男の好きな甘党の店」といったキャッチフレーズが考えられるだろう。

いずれにしても思い込みは禁物である。「男性だから、多少いいかげんでも大丈夫だろう。」という発想では、これから先、女性だけではなく、男性にも見放される。

成熟する時代の中で

そろそろ石川県でも新幹線開通以降のことが話題になってきている。開通すれば、話題性も高く、多くの観光客が訪れることだろう。しかし、一方で「単なる通過拠点になるのではないか」、「滞在日数が減少するのではないか」、「開通ブームで一過性のものになるのではないか」などと懸念する声を北陸を訪れると耳にすることも多い。

古くからある資源を生かしながら、いかに新しい時代に生き残るようにしていくかが大きな課題である。その中で、このメトロ・セクシャルに関する話題は、自社の製品やサービスを見直す中で検討する必要のある部分だろう。和菓子やスイーツなどでも男性の人気が高くなりつつあるし、先に述べたように衛生観念も以前とは大きく異なってきている。また、観光に来た記念に買い求めるものも、単なるお土産から、男性でも自らが身につけるものを求めることが多くなってきている。カップル客では、男性



日本でもスキンケアやヘアケア関連で男性市場が拡大している。

と女性が同じ商品を二つ買っていく姿も多い。

今まで、立ち飲み屋や牛丼屋、ラーメン屋などに女性客が進出するのが話題になってきた。女性客が入りやすいように店舗の工夫をすることで来店者を増加させたこれらの店は多い。しかし、考えてみれば女性客中心の店舗に入りたいと思っている男性客も多いはずである。そうした視点から考えることも重要になっているのだ。

こうした中で、どのように顧客を魅了していくのか。女性の視点が重要だと従来は言われてきたが、今後は、それよりも一層厳しい男性の目を意識することも大事な課題になってきているようだ。しかし、それは経営者にとって新しい顧客開拓につながると考えれば、あだやおろそかにはできないだろう。



今年4月、東京お台場に開業したダイバーシティ東京。服飾などの店舗を覗くと男性のファッションへの関心が高まっていることを感じさせる。定期的にこうした所を視察することも大切だ。

中村 智彦 (なかむら ともひこ)

【常勤】

神戸国際大学経済学部 教授

【非常勤】2012年度

日本福祉大学経済学部 関西大学商学部

【研究調査のテーマ】

- ・中小企業論（中小企業間ネットワーク、中小企業政策など。）
- ・地域経済論（製造業、商店街問題、企業誘致、地方自治体による産業支援問題など。）

☆フィールドでの調査や研究を得意としております。個人的趣味から、最近のニッチ市場やマニア市場なども関心の対象です。



【生年】

1964年 東京都町田市生まれ

【職歴】

1988年～1991年 Thai Airways International Co.,Ltd 日本支社勤務
 1991年～1994年 株式会社PHP総合研究所勤務
 [1992～1993年 シンガポール支社駐在]
 1996年～2001年 大阪府立産業開発研究所 経済調査部国際調査室勤務
 2001年～2007年 日本福祉大学経済学部 助教授
 2007年 神戸国際大学経済学部 教授
 2008年～ テレビ大阪「ニュース Biz」コメンテーター

【参考】

筆者のホームページ → <http://monodukuri.jp/>
 神戸から山形へ行って考えた～神戸国際大学中村ゼミ
 → <http://samidare.jp/tomsemi/>

フェイスブックを活用 「伝える」と「伝わる」

コミュニケーションを図りファン増やす

中小企業のための発信力 講座②

加茂谷慎治氏 / 株式会社エイチツーオー 代表取締役クリエイティブディレクター
北陸フェイスブック研究会会長

実らぬ一方通行の想い

ある日仕事場から帰宅し、ポストを見ると、ダイレクトメールやカード会社の請求書に交じって一通の手紙が。差出人をみると、覚えのない女性の名前。「あなたを一目見たときから・・・」で始まり切々とあなたへの思いがしたためられている。いったいどんな女性だろうと気にはかかるが、面識のない女性からのラブレターに、あなたはうれしくもあり、一方でいったい誰なんだという戸惑いも。翌日も、翌々日も同じ封筒で、言葉を変えてあなたへの思いがつつられている。

この女性の思いはあなたに伝わったのでしょうか。もちろん女性の情熱に引き付けられる方もいるでしょう。まずは会ってみたいという、好奇心をお持ちの方もいるでしょう。しかし、一方通行の手紙は、書いた女性の思いを「伝える」ことはあっても、相手の男性に思いが「伝わる」とは限りません。

一方的な発信では、相手に情報を「伝える」ことができて、相手の心に「伝わる」ということにはならないのです。相手の心を動かし、相手とコミュニケーションを図り、相手にファンになってもらうことで初めて、フェイスブックをはじめとするソーシャルメディアを活用した情報発信は功を奏する。従来、マスメディアを活用したPRは、テレビやラジオでコマーシャルを流す、新聞に広告宣伝を掲載する、折り込みチラシを配布する－などと一方的に情報を「伝える」ものでした。ソーシャルメディアを通じた情報発信には、受け手側と気持ちを共有することが欠かせません。

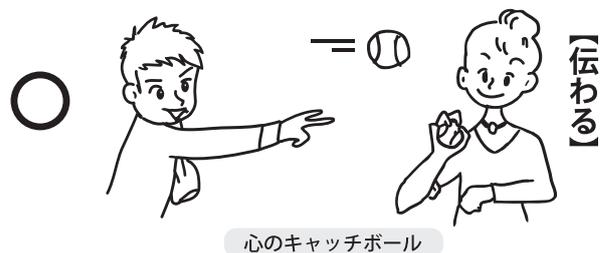
「ホームページを作ったので、全国からお客様がどんどん訪ねてきてくれるだろう」。さすがに最近

ではそんな幻想を抱いている経営者の方はいないでしょう。ホームページが一般に広がりだしたころ、ホームページ製作会社や広告代理店は、「御社もホームページを作りませんか。世界中に御社の情報が発信されますよ」とこぞってPRに努めました。そして、どこかの経営者団体の昼食会で聞いてきたのか、外出先から戻った経営者が「これからはホームページの時代だ。うちもホームページを作るぞ」と社員に檄（げき）を飛ばす－なんて場面も懐かしく感じられます。

一方通行から相互コミュニケーションへ

かつてのホームページも自社の情報を一方的に発信するものであった。コメント欄や問い合わせフォームを利用することにより、受け手であるお客様の意見をくみ取る仕組みはあっても、相互にコミュニケーションを深めるとい形ではなかった。ブログ、ツイッター、フェイスブックとソーシャルメディアの形が変わるに伴い、相互にコミュニケーションを図る形がますます広がっていったのである。連載の第一回で、フェイスブックを使って企業や団体の情報を発信することを提唱したが、受け手のコミュニケーションを構築しなくては、ソーシャルメディアにおいてファンは増えず、発信した情報も広がってはいかないのである。

例えば、商店が「今日は〇〇が半額」「午後△時からタイムサービス」などと一方的な売り込みの投稿を繰り返せば、たちまちファンは離れていってしまう。フェイスブックを使ってどうやって受け手とのコミュニケーションを図っていくのか。まずは個人でフェイスブックに登録し、「いいね！」がたくさんついている投稿や「シェア」といって共有され



それ行け! エンドーくん

文・かもやしんじ 絵・きわださとみ



※注意 フェイスブック活用の効果には個人差があります。マンガはあくまでもイメージを表現したものです。効果的な活用方法をともに学びましょう。



ている投稿を見るのが第一歩である。野球を始める時に、速い球を投げる投手のフォームをまねてみる、ヒットを連発する打者のフォームを参考にしてみるといった具合である。この時、投稿者が著名人である場合は事情が異なる。「いいね!」がたくさんつ

いているからといっても、「あの有名な歌手の発言だから」、「尊敬する作家の投稿だから」、といったように投稿の内容以前に発信者に大きな影響力があることを考える必要がある。素人がいきなりイチロー選手のフォームを真似しても体のバランスを崩すのと同様に、まずは基本を押さえましょうということである。

共感を得られる投稿とは

「いいね!」がたくさんついている投稿、つまり共感を得られている投稿にはいくつかのポイントのあることがわかる。

1 季節の話題、旬の話題

日本には四季があり、暦に沿ってさまざまな行事やイベントが予定されている。

正月には、初詣に行き、お節料理を味わう。春は桜が咲き誇り、卒業入学の季節を迎える。夏はアウトドアへ足を延ばす。秋は紅葉を愛でる。冬はクリスマスを楽しみにし、新しい年を迎える準備に追われる。時節に応じた投稿は、発信側と受け手側の体験が同一化し、共感を得られやすいのである。皆さんの企業でも、季節商品を扱っていないだろうか。季節感コミュニケーションの第一歩かも知れない。

2 美しい写真

五感に訴えるというのは、相手に共感を求めるための大切な要素である。フェイスブック上で写真を掲載することで、美しい写真が目飛び込んでくれば、多くの人の共感を得られる。「百聞は一見に如かず」の言葉通り、どんなに美しさを文字で表現するより



季節の写真、美しい写真を投稿することは、多くの「友達」の共感を得られやすい。

も伝わりやすい。1の四季折々の風物との相乗効果は大きいものとなる。

3 分かりやすい文章

当たり前だが、これが一番難しい。作家ではないので、美文明文を書くとはまではいなくても、短く分かりやすい文章を心がけることが大切である。

4 目を引く見出しを

タイムラインには友達の投稿が次々と上がってきます。一行目には、目を引く見出しを書いて読んでもらえるように工夫をする。スポーツ紙の見出しにドキッとして思わず記事を読んだことはありませんか。

5 「夢」前向き

実名登録が原則のフェイスブック。誰もが、自分の名のもとに、責任ある投稿をする。求めるのは、元気をもらえる投稿である。自分の意見を述べるのは自由だが、中傷や妬みは嫌われる。本人の目の前で言えないような批判も避けるべき。夢のある投稿、前向きな発言を心がけることが肝要である。

一方で、「やってはいけない」投稿というものもある。まずは、合法ではない活動についての投稿である。社会人として、当然守るべきルールを踏み越えてはいけない。犯罪行為は言うまでもないが、モラルに反した行動を写真付きであげるなどという人は、この会報の読者の方にはいないと思うが。ホテル内のレストランで働く従業員が、お客様の個人情報をついTwitterに投稿し、ホテル側が謝罪する事態に発展したこともある。一度、投稿された情報はもう戻ることではないのである。大きな影響力を持つ、波紋を巻き起こすこともあるということを忘れてはいけない。

グループ機能を活かして情報共有

ファンを増やしたら、次はフェイスブックの機能を活かしたページの充実である。便利な機能の代表的なものは、「グループ機能」と「イベント機能」が挙げられる。「グループ機能」は文字通り、利用者を対象にフェイスブック上でグループを作り、情報を交換する仕組みだ。フェイスブックのタイムラインの左下にある「グループを作る」をクリックするだけで、グループが作成できる。主催者として、立ち上げればあとはメンバーを追加するだけであ



グループ機能を活用すればグループ内の情報交換やコミュニケーションに効果が上がる。

る。グループの存在自体を誰にも知られることがないよう「秘密のグループ」に設定することもできるほか、グループ名やメンバーは分かるが投稿内容は分からない「非公開グループ」、そしてメンバーも内容も第三者に分かる「公開グループ」という設定が可能である。グループ内で意見や情報の交換もできる。メーリングリストのように引用が繰り返されることもなく、コメント欄が連なっていくため、誰の投稿なのかも一目瞭然である。社内プロジェクトなどでも情報共有には便利な機能になっている。

イベント機能で参加者を招待

もう一つ便利な仕組みが「イベント機能」。セミナーを開催しよう、お客さまをご招待してイベントを開催しようという時に役立つ機能だ。フェイスブックページ左側の「イベントを作る」をクリックして、イベント名、開催場所、日時などを入力し、友達を招待することができる。出欠確認も一目で分かり、出席者や未回答者（出欠を保留中）に一斉にメッセージを送って情報を伝達できる。社内や団体



イベント機能の活用で、催しを告知して、参加者も把握できる。

内のメンバーで活用すれば、会議スケジュールの管理やプロジェクトの進捗状況も共有できる。

これらの機能を活用することで、フェイスブックページが常に新しい情報があふれて生き活きと盛り上がる。団体や企業でフェイスブックページを作ったら、情報を更新してワクワク感にあふれた楽しいページを目指すべきである。次はあのページを開くとどんな前向きな投稿があり、楽しい企画があるのだろうかーそんな期待感を膨らませることが大切なのである。

投稿に創造力を込めて

フェイスブックページは開設したけれど、何を投稿すればいいのだろうか。悩むよりもまず「フェイ

スブックワールド」に飛び込んでみることである。前述の、共感を呼ぶ投稿、「やってはいけない」投稿に配慮して、情報を発信してみよう。

沢村栄治という戦前のプロ野球の大投手をご存知だろうか。1934年、日米野球でメジャーリーグ選抜チームを相手に、弱冠17歳ながら先発して9三振を奪う好投を見せ、1936年には日本プロ野球史上初のノーヒットノーランを達成した名選手である。1944年、太平洋戦争に出征し、27歳で戦死する。その若者が生前、こう語っている。「どんな球でも一投、これすべて創造だと思います」。感動を覚えながら一球一球を投げ込んだ沢村投手。私たちも言葉の一つ一つに創造力を込めて投稿し、共感を得てファンを増やしていきたい。

情報企画課の遠藤です。
新年度から事務局に加わった新メンバーです。
田尻美子さん（写真右）と板坂陽子さん（写真左）の2人です。
田尻さんは会沢駅ステーションギャラリーで実施する「抜で魅せる石川の伝統工芸（美濃事業）」を中心とした県内の伝統的工芸品の振興発展業務を担当します。
板坂さんは中小企業施策の普及促進業務を担当します。みなさん、よろしくお願いたします！

抱負を一言ずつお願いします。
田尻さん「はじめまして。5月1日（火）スタート、「抜で魅せるいしかわの伝統工芸 美濃会」にて、伝統工芸士の皆さんの偉大な技を余すところなくお伝えできるよう、邁進したいと思えます。どうぞ宜しくお願いいたします。」
板坂さん「まだまだ何もわかりませんが、一生懸命頑張ります！」



左は事務局の新メンバーを紹介する投稿

【石川県中小企業団体中央会のフェイスブックページから】

今年1月に開設した石川県中小企業団体中央会フェイスブックページでは、中央会の事業報告や会員団体・企業の紹介などに活用している。事務局の複数のメンバーが実名入りで記事を投稿、顔の見えるページづくりを心がけている。生き活きとした写真や、取材や行事の際のこぼれ話も交えて読んで楽しいページを目指しており、団体のフェイスブック活用の参考になる。

石川県中小企業団体中央会のフェイスブックページはフェイスブックユーザーの方は、検索窓に「石川県中小企業団体中央会」と入れて検索（虫めがねマークを押す）すると見ることができます。

まだフェイスブックを登録していない方は、インターネット検索サイトで「石川県中小企業団体中央会 フェイスブック」と入力すると検索できます。



加茂谷 慎治

(かもや しんじ)

株式会社エイチツーオー
代表取締役クリエイティブディレクター
北陸フェイスブック研究会会長

【事業のテーマ】

新しいこと、ワクワクすることを創り出す。ライティングと講演を通して感動を伝える。
志を信じ、情熱を持って社会を動かす。多くの人の役に立てるよう自分を磨く。

【出身校】

1987年 関西学院大学卒業

【職歴】

2008年～ デザイン総合プロデュース業 株式会社エイチツーオーを設立、現在に至る。

【その他】

公益財団法人全国法人会広報委員
石川県男女共同参画審議会委員
いしかわ観光特使
石川県産業創出支援機構（ISICO）登録専門家

ホームページ <http://h2o-d.jp/>
ブログ <http://kamoya.h2o-d.jp/>

【生年】
1964年 石川県金沢市生まれ

平成24年度表彰式並びに 第57回 中央会通常総会を開催

本会の平成24年度表彰式並びに第57回通常総会が去る6月11日（月）午後4時より金沢エクセルホテル東急において挙行されました。

当日は、会員321名（委任状出席を含む）が出席し、来賓として谷本正憲石川県知事、山野之義 石川県市長会会長をはじめ、県、市、商工団体等の関係機関から多数が出席され、盛大にとり行われました。

総会は、五嶋耕太郎会長挨拶の後、富木昭光副会長が議長に選任され、第一号議案「平成23年度事業報告書、収支決算書、貸借対照表、財産目録、損益計算書、剰余金処分案並びに平成23年度特別会計事業報告書及び収支決算等承認の件」、第二号議案「平成24年度事業計画(案)及び収支予算(案)並びに特別会計事業計画(案)及び収支予算(案)決定の件」、第三号議案「平成24年度会員の会費賦課基準(案)並びにその徴収方法(案)決定の件」、第四号議案「平成24年度借入金残高の最高限度額(案)決定の件」、第五号議案「役員改選の件」の五議案が上程され、すべて原案どおり可決承認決定されました。

新規事業として地域の中で中小企業が望む若手人材の確保・定着を目指す「地域中小企業の人材確保・定着支援事業」や課題解決のために専門家を無料で派遣することで大変好評な「企業ドック事業」等の継続事業にも更に磨きをかけて実施する方針です。

再任された五嶋会長は「国内外ともに景気の先行きが懸念される状況ではあるが、臆することなく国の礎である中小企業の発展、地域経済のため“共に考え、行動し、結果を出す中央会”として全力を傾注する」と力強く抱負を述べられました。



五嶋会長の挨拶



石川県商工労働部 稲葉良二 部長による乾杯の発声（懇親パーティ）

総会に先立ち、中央会表彰式が挙行され（受賞の方々は11ページに掲載）、永年業界の振興発展に尽くされました組合並びに役員の方々、また、組合運営の礎となっている職員の方々にそれぞれ石川県知事表彰（優良組合8組合、組合功労者25名、優良専従職員7名）及び石川県中央会会長表彰（優良組合12組合、組合功労者68名、優良専従職員4名）が授与されました。



石川県知事表彰 組合功労者
石川県鉄工団地協同組合 徳野与志一 理事長



中央会会長表彰 優良組合
金沢建設業協同組合 鶴山庄市 理事長

石川県中小企業団体中央会 新役員名簿

順不同・敬称略

○会長	五嶋 耕太郎	輪島漆器商工業協同組合	○理事	平村 敏一	金沢魚商業協同組合
○副会長	片岡 清	石川県電器商業組合		三田 國男	金沢酒販協同組合
	富木 昭光	協同組合金沢問屋センター		宮前 正明	石川県中古自動車販売商工組合
	森岡 吉男	社団法人石川県ニュービジネス創造化協会		山岸 淑子	賢町商店街振興組合
	西 紀幸	小松織物工業協同組合		吉村 一	近江町市場商店街振興組合
	明石 巖	石川県鉄工団地協同組合		伝統産業関係	
	村田 信親	石川県プレス工業協同組合		伊野 正満	石川県九谷陶磁器商工業協同組合連合会
	小西 國夫	ウイング北陸総合衣料商業協同組合		蚊谷 八郎	石川県箔商工業協同組合
○専務理事	中村 明	石川県中小企業団体中央会	小西 敏夫	協同組合加賀染振興協会	
○理事	繊維関係		塩安 眞一	輪島漆器商工業協同組合	
	上田 高志	石川県撚糸工業組合	宮 宏之	山中漆器連合協同組合	
	大沼 利洋	石川県輸出縫製品工業協同組合	吉田 正一	石川県陶磁器商工業協同組合	
	田村 裕二	石川県テントシート工業組合	サービス関係		
	中村 修一	石川県繊維資材工業組合	常少 常三	石川県ビルメンテナンス協同組合	
	山本 一人	石川県織物工業協同組合	田中 道夫	和倉温泉旅館協同組合	
	鉄工関係		寺井 金七	山中温泉旅館協同組合	
	穂田 竹男	旭丘団地協同組合	長田 實	石川県理容生活衛生同業組合	
	岩本 博之	石川県第三機器協同組合	架谷 憲洋	石川県自動車整備商工組合	
	塩谷 哲生	石川県鋳物工業協同組合	橋本 大衛	石川県柔道整備師協同組合	
	多川 直信	北陸鉄工協同組合	松本 初夫	金沢市旅館ホテル協同組合	
	中村 健一	協同組合アイケイケイ	運輸・食料品・印刷・その他の製造業・異業種関係		
	藤井 寛治	小松鉄工機器協同組合	山田 秀一	石川県貨物運送協同組合連合会	
	本 裕一	能美機器協同組合	中田 龍一	石川県菓子工業組合	
	建設・木材関係		山下 正幸	石川県パン協同組合	
	北川 晶夫	石川県管工事協同組合	山本 晴一	石川県醤油協同組合連合会	
	北川 義信	石川県総合建設業協同組合	永野 博信	石川県印刷工業組合	
	谷 孝一	石川県造園業協同組合	馬場 貢	石川県プラスチック成型加工工業協同組合	
	鶴山 庄市	金沢建設業協同組合	中浦 政克	協同組合のともん	
	向出 勉	石川県生コンクリート工業組合	米澤 卓也	安原工業団地協同組合	
	米沢 寛	石川県電気工事工業組合	女性部・青年部		
折高 啓一	金沢木材協同組合	安藤 喜代子	石川県中小企業団体中央会女性部		
商業関係		直江 潤一郎	石川県中小企業青年中央会		
安宅 雅夫	金沢中央水産物卸協同組合	○監事	王生 義彦		
小間井 隆幸	石川県商店街振興組合連合会	池田 利明	金沢中央信用組合		
須田 紀久治	石川県青果食品商業協同組合連合会	勝泉 完	小松協栄瓦企業組合		
寺岡 才治	富来町商業近代化協同組合	鴻野 洋行	石川県板金工業組合		
野村 幸宏	石川県石油販売協同組合	上馬 定司	石川県鍍金工業組合		
			石川県電機設備協同組合		

中央会表彰式 受賞の方々



平成24年度中央会表彰式にて表彰されました、優良組合・組合功労者・優良専従職員の方々です。おめでとうございます。今後、益々のご活躍をお祈り申し上げます。
(敬称略)

石川県知事表彰

優良組合

(組合設立年次順)

氏名
資源エコロジーリサイクル事業協同組合
安原工業団地協同組合
松任石川宅建事業協同組合
加賀特産品協同組合
全日食チェーン北陸協同組合
金沢市設備メンテナンス協同組合
石川中央ネットワーク協同組合
石川県セメント卸協同組合



組合功労者

(組合設立年次順)

氏名	組合名	氏名	組合名
山上 公介	石川県石油販売協同組合	小間 徹夫	金城小売協同組合
吉田 眞啓	山代温泉旅館協同組合	織田 鐵吾	石川県牛首紬生産振興協同組合
小出 仙英正	山中温泉料飲業協同組合	森井 清城	石川県書店商業組合
日比野 顕一	山中温泉料飲業協同組合	藤田 正一	松任石川宅建事業協同組合
山田 修三	協同組合金沢問屋センター	北田 友丈	松任石川宅建事業協同組合
酒井 武	金沢酒販協同組合	岡島 健一	松任石川宅建事業協同組合
南 満	金沢酒販協同組合		
架谷 辰雄	金沢酒販協同組合		
萬谷 守男	加賀建設業協同組合		
伊藤 幸男	近江町市場商店街振興組合		
浅谷 宏一	石川県溶接工業協同組合		
糺 正文	石川県溶接工業協同組合		
野村 光良	石川県溶接工業協同組合		
徳野 与志一	石川県鉄工団地協同組合		
素都 益光	石川県鉄工団地協同組合		
森田 豊明	石川県鉄工団地協同組合		
瀧川 昭美	石川県板金工業組合		
長田 龍夫	石川県鉄骨工業協同組合		
田中 雅章	金城小売協同組合		



優良専従職員

(組合設立年次順)

氏名	組合名
西島 真寿美	ウイング北陸総合衣料商業協同組合
目谷 博文	石川県自動車整備商工組合
竹山 美也	石川県自動車整備商工組合
樋本 有理	協同組合ユー・エス・ジー
寺田 寛	石川県生コンクリート工業組合
吉村 巖	石川県生コンクリート工業組合
谷 まり子	協同組合石川県高速道路交流センター



石川県中小企業団体中央会会長表彰

優良組合

(組合設立年次順)

氏名
石川情報交流事業協同組合
石川県異業種交流協同組合
南加賀木材協同組合
協同組合石川県道路管理センター
協同組合金沢パワーウッド
伏見台商店街振興組合
金沢建設業協同組合
能登アパレル工業協同組合
北陸警備業協同組合
北陸サッシ類施工の会協同組合
協同組合全日本手技療術師協会連合会
建設発生土リサイクル事業協同組合



組合功労者

(組合設立年次順)

氏名	組合名	氏名	組合名
浅川 郁夫	石川県板硝子商工協同組合	田中 喜世志	石川県鮎商生活衛生同業組合
美本 隆旨	北陸鉄工協同組合	打本 敏三	石川県公衆浴場業生活衛生同業組合
松井 孝憲	北陸鉄工協同組合	有川 義雄	石川県飲食業生活衛生同業組合
長 和夫	石川県冷凍業協同組合	太田 昭一	石川県九谷陶磁器商工業協同組合連合会
竹内 和良	石川県電気工事工業組合	越村 正志	金沢市建築板金協同組合
中村 孝一郎	石川県箔商工業協同組合	清水 郁男	金沢個人タクシー協同組合
北島 俊克	石川県鋳物工業協同組合	山岸 善吾	石川県税理士協同組合
斉田 隆	金沢魚商業協同組合	所司 久雄	石川県税理士協同組合
市原 進	金沢魚商業協同組合	常山 明夫	石川県税理士協同組合
宮崎 良一	金沢魚商業協同組合	亀井 修	石川県税理士協同組合
田向 公一	山中温泉旅館協同組合	今村 修	石川県税理士協同組合
北川 和也	石川県印刷工業組合	池内 孝輔	金沢中央水産物卸協同組合
千田 行一路	石川県印刷工業組合	片山 茂	金沢中央市場青果卸売協同組合

組合功労者

(組合設立年次順)

氏名	組合名	氏名	組合名
松本 清	石川県造園業協同組合	森田 一哉	石川県柔道整復師協同組合
本田 壽	石川県造園業協同組合	池田 秀樹	安原工業団地協同組合
東 茂	石川県造園業協同組合	北 卓	安原工業団地協同組合
武部 外喜寛	石川県造園業協同組合	紙本 敬章	安原工業団地協同組合
吉村 務	石川県造園業協同組合	中井 泰治	松任石川宅建事業協同組合
山本 加津雄	石川県青果物小売商協同組合	久保田 忠義	松任石川宅建事業協同組合
柴山 辰夫	石川県青果物小売商協同組合	竹中 新二	松任石川宅建事業協同組合
高本 美和子	石川県青果物小売商協同組合	北村 達也	松任石川宅建事業協同組合
吉岡 豊彦	石川県青果物小売商協同組合	明 翫章宏	金沢建設業協同組合
高瀬 幹夫	石川県プラスチック成型加工工業協同組合	鶴山 庄市	金沢建設業協同組合
北野 祐一	石川県プラスチック成型加工工業協同組合	平 櫻保	金沢建設業協同組合
大滝 泰尚	石川県プラスチック成型加工工業協同組合	橋本 和雄	金沢建設業協同組合
島田 孝二	石川県板金工業組合	小柳 正彦	金沢建設業協同組合
山田 明彦	石川県板金工業組合	山中 美英子	協同組合全日本手技療術師協会連合会
松田 定則	石川県鉄骨工業協同組合	松本 勝義	協同組合全日本手技療術師協会連合会
辻端 義弘	石川県コンクリート製品協同組合	菅原 敏行	協同組合全日本手技療術師協会連合会
新藏 正信	協同組合ユー・エス・ジー	松谷 美知子	協同組合全日本手技療術師協会連合会
宮前 正明	石川県中古自動車販売商工組合		
清水 洋	石川県生花小売商協同組合		
徳田 章	石川県生花小売商協同組合		
角村 保	石川県生花小売商協同組合		
竹宮 良憲	石川県ビルメンテナンス協同組合		
井並 二六三郎	北陸ロードサービス事業協同組合		
清水 平次	北陸ロードサービス事業協同組合		
高田 勝	北陸ロードサービス事業協同組合		



優良専従職員

(組合設立年次順)

氏名	組合名
下 恵史	山代温泉旅館協同組合
角谷 由美子	山代温泉旅館協同組合
藤井 瑚友希	ウイング北陸総合衣料商業協同組合
江守 達弥	石川県土質研究協同組合



中央会女性部通常総会を開催



安藤会長の挨拶

中央会女性部の第12回目の通常総会を5月24日（木）ホテル日航金沢において、来賓として石川県中小企業団体中央会 五嶋耕太郎会長、中村明専務理事を迎え、40人の出席者のもと開催しました。

総会は、竹川操枝副会長の進行により開催、安藤喜代子会長挨拶のあと、来賓紹介があり、「平成23年度事業報告、収支予算、平成24年度事業計画（案）並びに収支予算（案）承認及び役員改選」など4議案が上程され、すべて原案どおり承認可決されました。

総会では、今年度より組合女性部連携強化事業の新しい取り組みとして、組合女性部への訪問並びに意見交換会を実施し、県内女性部の活性化及び連携強化を図っていくということとなりました。

総会に引き続き、株式会社金沢倶楽部 代表取締役 山田元一氏を迎え「北陸新幹線の開業を迎えて」というテーマで研修会が行われました。

その後、同会場にて、和気藹々とした雰囲気の中、交流会が開催されました。

平成24年度中央会女性部役員

役職	氏名	青年部名
会長	安藤 喜代子	金沢市湯涌温泉観光事業協同組合 かたくり会
副会長	須谷 正代	山中温泉旅館協同組合 山中温泉ぼたん会
副会長	竹川 操枝	石川県飲食業生活衛生同業組合 女性部
※副会長	藤 国子	輪島市本町商店街振興組合 おかめ会
理事	谷崎 年子	金沢市旅館ホテル協同組合 うめ鉢会
理事	記州 陽子	石川県花商事協同組合 女性部会
理事	伊藤 夫美枝	富来町商業近代化協同組合 アスク女性部
理事	和田 秀子	山代温泉旅館協同組合 織比咩会
※理事	大平 幸枝	安原工業団地協同組合 桜梅桃梨の会
※理事	多田 直未	和倉温泉旅館協同組合 女将の会
監事	小西 千賀子	ウイング北陸総合衣料商業協同組合 ウイング奥様会
※監事	北村 宏子	金沢市商店街連盟 おかみさん連絡会

※は新任役員



総会の様子



講演会講師 山田元一氏

青年中央会通常総会並びにビジネス交流会を開催

平成24年度青年中央会通常総会を6月1日（金）午後6時からホテル日航金沢において71人の出席者のもと開催しました。

総会は、直江潤一郎会長の挨拶に続き、山下活博石川県商工労働部経営支援課長、萩尾 太 商工組合中央金庫金沢支店長、五嶋耕太郎中央会会長が祝辞を述べた後、議長に直江会長を選任し、第1号議案「平成23年度事業報告、収支決算並びに剰余金処分（案）承認の件」、第2号議案「平成23年度事業計画（案）並びに収支予算（案）決定の件」、第3号議案「平成24年度経費の賦課並びに徴収方法決定の件」、第4号議案「役員改選の件」の4議案が上程され、すべて原案どおり承認可決されました。

再任され2期目となる直江会長からは「会員間の交流をより一層深めるための取り組みを行っていきたい」との挨拶がありました。



直江会長の挨拶

平成24年度青年中央会役員

役職	氏名	青年部名	役職	氏名	青年部名
会長	直江潤一郎	大野醤油醸造協業組合むらさき会	※理事	紙谷 一成	近江町市場商店街振興組合青年ビジョン委員会
副会長	谷口 義則	石川菓業青年会	※理事	南 太郎	小松鉄工機器協同組合青年部
副会長	酢谷 喜輝	山中木製漆器協同組合青年部	※理事	来丸 雅信	石川県プレス工業協同組合ジュニアクラブ
副会長	高松 和彦	石川県パン協同組合青年部会	※理事	甲藤 正人	石川県板金工業組合青年部
副会長	表 英治	小松管工事協同組合青年部会	※理事	室 栄司	輪島市商店連盟協同組合青年部
理事	加藤 泰章	片町商店街振興組合青年部	監事	徳田 謙一	石川県電気工事工業組合青年部
理事	田中 清一	協同組合金沢問屋センター青年部会	※監事	岡本 哲弥	石川県タイヤ商工協同組合青年部
理事	下荒 隆晴	石川県木材青壮年会			

※は新任役員

また、総会後に開催されたビジネス交流会では、ランダムに班分けされた7つのテーブルにおいて、抽選によって決まった「お題」についてのグループディスカッションを実施しました。

大テーマはズバリ！！「石川県の『〇〇』』と言え！」「世界に誇れる技術や会社と言え！」「県知事になったら！」という少し考えてしまうお題から「有名人と言え！」や「デートスポットと言え！」という楽しいお題まで、お酒も入り、各テーブルでは活発な意見交換がなされ、十分に交流が図られました。

その後、ステージ上で各班ごと自己紹介に続き、“ベストアンサー”が発表され、まじめな回答や面白い回答の連続に会場は大いに盛り上がりました。



グループディスカッションの様子



各班ごとの発表

全国青年中央会通常総会並び創立20周年記念式典へ出席

全国中小企業青年中央会の通常総会と創立20周年記念式典が6月22日（金）東京都の明治記念館において約300人の出席者のもと開催され、本県からは青年中央会 直江潤一郎会長（大野醤油醸造協業組合むらさき会）、酢谷喜輝副会長（山中木製漆器協同組合青年部）が出席しました。

記念式典では、優良組合青年部表彰が行われ、**全国中小企業団体中央会会長表彰を金沢市青果食品商業協同組合青年部が、全国中小企業青年中央会会長表彰を山中木製漆器協同組合青年部が受賞**しました。おめでとうございます。

また、作家・東京都副知事である猪瀬直樹氏を講師に迎え「将来に向けての重大な選択」と題した基調講演が行われました。



全国中小企業青年中央会会長表彰の受賞者
上段左から3人目が酢谷氏



猪瀬直樹氏による基調講演

全国レディース中央会通常総会・ 組合女性部活性化研究会へ出席

全国レディース中央会の通常総会と組合女性部活性化研究会が7月5日（木）東京都の東京都立産業貿易センターにおいて開催され、安藤喜代子会長（金沢市湯涌温泉観光事業協同組合かたくり会）が出席しました。安藤会長は、今年度も引き続き、組合女性部活性化研究会委員として全国レディース中央会と今後の組合女性部活動の活性化に尽力されます。

組合女性部活性化研究会では、中小企業庁事業環境部企画課長の間宮淑夫氏を迎え、「“小さな企業” 未来会議について」をテーマに意見懇談会が行われました。



通常総会の様子



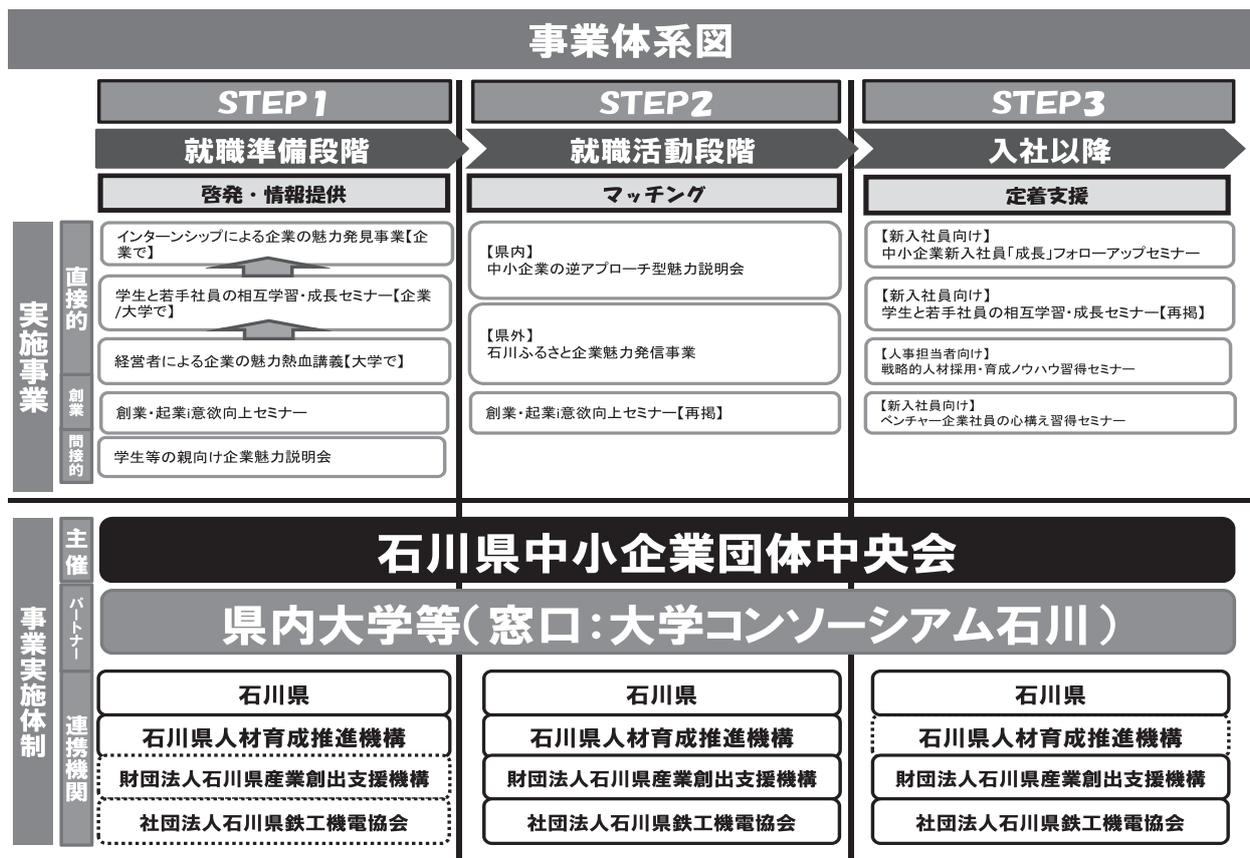
活性化研究会に出席した安藤会長

「地域中小企業の人材確保・定着支援事業」経過報告

本会では、今年度「地域中小企業の人材確保・定着支援事業」に取り組んでいます。

この事業は、中小企業の経営力強化を図るため、地域で学んだ大学生等を地域において円滑に採用でき、かつ定着させるための自立的な仕組みを整備することで、継続的に若手人材を確保し、中核人材として育成していくことを目的としており、具体的には、下図のSTEP1（就職準備段階：主に、大学1年～3年生対象）からSTEP2（就職活動段階：主に、大学4年生対象）、STEP3（入社以降：主に入社1～3年目の若手社員、企業の人事担当者など）の事業について実施いたします。

今回は、既に行いました事業等について一部ご紹介させていただきます。



STEP1

●インターンシップによる企業の魅力発見事業

大学等の夏休み期間（7月～9月）を中心に、1週間以上のインターンシップを実施。現在、受入企業は52社で、企業・学生間にてマッチング実施中です。

写真は、7月7日に開催した、実習希望の学生に対する、「インターンシップ直前セミナー」の様子です。参加学生は35名。講師にエキスパート・フラップ㈱の高由紀社長をお招きし、学生たちにインターンシップに参加する時の心構えを熱く語っていただきました。

参加してくれた学生たちは、朝、会場に入ってきたときは堅い表情でしたが、説明会を受けて帰るときには、別人のように良い表情になっていました。



●経営者による企業の魅力熱血講義

大学等と連携し、学内で講義することにより、中小企業で働くことの面白さを知ってもらう取り組みです。

写真は、7月3日に開催しました、金沢星稜大学での講義の様子です。

学生約60名が参加。講師に、(株)ルバンシュの千田和弘社長、金沢星稜大学の坂野光俊学長、ジョブカフェ石川の高本隆館長を迎え、パネルディスカッション形式で行いました。

参加者アンケートの結果も上々な様で、熱い講義となりました。参加者は大学2～3年生でしたので、来年度以降中小企業に対する興味につながり、就職先の選択肢に加えてもらえれば成功だと思います。秋には、北陸学院大学と金沢工業大学での開催を予定しております。



STEP2

●中小企業の逆アプローチ型魅力説明会

通常のコミュニケーション面接会に加え、企業から興味のある学生にアプローチする時間帯を設け、マッチング率を高める面接会を開催しています。

小規模の定例面接会を月に1回、ジョブカフェ石川がある「本多の森」にて実施。7月29日には、地場産業振興センターにて53社による合同説明会を予定しています。

写真は、定例の小規模面接会の様子です。



●石川ふるさと企業魅力発信事業

県内外で開催されるUIターン就職イベントへの出展や県外大学への訪問を通じて、県内中小企業の情報発信を行います。

写真は、6月21日に開催しました、立命館大学の就職フェアでのUIターン相談会の様子です。



STEP3

●戦略的人材採用・育成ノウハウ習得セミナー

中小企業における若手社員の定着を図ることを目的とした、人事担当者向けのセミナーです。

写真は、6月12日に地場産業振興センターで開催しましたセミナーの様子です。参加者は114名。講師に前ナイキ アジア太平洋地域人事部長の増田弥生さんをお招きし、「社員を魅きつけて離さない会社とは」と題して、自身の実践経験を振り返りながら、人と組織の活性化等について熱く語っていただきました。



－住宅の新改築で地球温暖化対策はバッチリ！－ 住宅エコ改修に関する技術講習会を開催

本会では、石川県からの委託を受け、既存住宅の省エネルギー設計施工等における技術向上を目的とした講習と、今回から新たに住宅におけるエネルギー消費を50%削減することを目指した省エネルギー住宅における設計施工等の技術向上を目的とした講習を2日間にわたって開催しました。

6月7日（木）は「既存住宅の省エネ改修ガイドライン講習（改修）」、8日（金）は「自立循環型住宅への設計ガイドライン講習（新築）」の講習を、石川県地場産業振興センターコンベンションホールにおいて開催し、建築関係者など延べ約400人の受講者が参加しました。



講習会の様子

石川県中小企業団体事務局協議会 通常総会を開催

平成24年度の石川県中小企業団体事務局協議会通常総会を6月28日（木）金沢エクセルホテル東急において開催しました。

総会では、門前重厚会長（石川県プレス工業協同組合）の挨拶の後、松浦 勉副会長（協同組合石川県観光物産館）を議長に選任し、上程された4議案すべて原案通り可決承認されました。

また、総会終了後、株式会社テレビ金沢 辻 雅由事業部長を講師にお迎えし「有効的なマスコミ活用術」をテーマに研修会を開催し、マスコミを上手く活用して人の記憶に残るPRの方法について講演をいただきました。

引き続き交流懇親会が開かれ、来賓の方々をお迎えし有意義な意見交換会がなされ、和やかな雰囲気の中で終わることが出来ました。

会員の皆様のご協力を感謝致しますとともに、本年度もご支援頂きますようよろしく御願ひ申し上げます。

《平成24年度 事業計画》

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 組合事務局人材養成事業 | |
| (1) 役職員等研修事業 | 年2回（金沢市ほか） |
| (2) 先進地視察研修事業 | 年1回（福島県会津地方） |
| 2. 組合運営研究事業 | 年3回（金沢市） |
| 3. 組合情報提供事業 | 組合運営に関する情報提供 随時 |



挨拶をする門前会長



講師のテレビ金沢 辻部長



講演会風景



議長の松浦副会長

第64回 中小企業団体全国大会へ提出の要望事項を決定

経済委員会、組織委員会、企画委員会を開催

石川県地場産業振興センターにおいて開催した今年度第1回目となる経済委員会（7月9日）、組織委員会（7月10日）での承認を受けて、7月12日に金沢ニューグランドホテルにおいて企画委員会を開催し、第64回中小企業団体全国大会決議における「総合」、「組織」、「金融」、「商業」、「税制」、「労働」に関する33項目の本県要望事項等が決定されました。この要望事項は継続要望事項に加え、今年4～5月にかけて募集し、集まった3組合等からの4項目を新規要望として加えたものです。



組織委員会の様子



経済委員会の様子

東海・北陸ブロック中央会事務局代表者会議を開催

7月18日（水）ホテル日航金沢において愛知、岐阜、三重、富山、石川の各中央会及び全国中央会から14名が参加者し、東海・北陸ブロック中央会事務局代表者会議を開催しました。

会議では、先の企画委員会で決定した本県要望事項に加え、他4県中央会から提出された要望について審議・検討・取りまとめ、東海・北陸ブロックの要望として決定し、全国中小企業団体中央会へ提出します。

翌19日（木）には視察研修が行われ、株式会社柴舟小出 いなほ工場では、製造工程や衛生管理、直源醤油株式会社では工場内見学の後、協業組合の役割やまちづくりへの取り組み等についての説明を受けました。

要望事項全文は本会ホームページ（<http://www.icnet.or.jp/>）にてご覧になれます。なお、今回の全国大会は10月25日（木）宮崎県において開催されます。（参加者募集のご案内は34ページをご覧ください）



ブロック会議の様子



直源醤油(株)での視察の様子

平成24年5月31日(木)／北國新聞朝刊掲載

『能登前寿司』

～七尾『すし王国』新事業各店自慢の7貫提供～

石川県鮪商生活衛生同業組合七尾支部 七尾商工会議所

七尾商工会議所と県鮪商生活衛生同業組合七尾支部は今秋から、観光客に「す

今秋から

し王国能登七尾」の魅力を伝えるため、各店自慢の旬のすし7貫を「能登前寿司」の名前で提供する取り組みを進める。すしに詳しくない観光客にも七尾のすしのうまさや職人の技を気軽に味わってもらい、リピート客獲得を目指す。

「能登前寿司」事業は、30日に同会議所で開かれた発表会で紹介された。今後、協力店舗を募る。同日は同市内の4店が、旬のトリガイやおコゼ、サバ、トビウオなど七尾湾や七尾沿岸で捕れた魚介と、能登の米を使った「能登前寿司」の試作品を発表し、報道関係者が試食した。

同会議所は、今秋首都圏で開催する「能登前寿司」の食談義や、七尾市内観光と「能登前寿司」を組み合わせた今冬のモニターツアー計画を発表し、七尾市

観光協会などが「すし王国能登七尾」の商標登録へ手続を進めることも紹介した。

平成24年5月31日(木)／北國新聞朝刊掲載

加賀友禅の技 市役所でPR

「テーブルの敷物など寄贈」

石川県染物商工業協同組合

県染物商工業協同組合は30日、加賀友禅の技を生かして新開発したテーブルの敷物など62点を市に寄贈した。一点一点が手描きで、飲み物などをこぼしても汚れない撥水加工を施すことで食卓にも使えるようになった。国内外から訪問者が多い市役所で「本物の加賀友禅」のPRに活用してもらう。

水野昌徳理事長と宮口優専務理事、横越徹市議が市役所で山野之義市長に手

渡した。テーブルに敷く帯状のテーブルランナーは着物の帯一本分の約4メートルの長さで、1枚約30万円相当という。テーブルの中央に敷くテーブルセンター15枚と合わせ、一点ずつ桐箱に収めた。ランチョンマット10枚、コースター33枚も贈った。

加賀友禅の特徴である写実的な花鳥風月などが描かれ、季節によって取り換えられるようにした。強力なフッ素加工が施され、1

時間煮沸してもシミにならないほど汚れに強いという。

市の金沢ブランド工芸品開発促進補助を受けて開発し、加賀友禅の販路拡大を目指す。水野理事長は「役所なら質素を旨とすべきかもしれないが、お客さんが入る部屋ぐらいは『金沢の本物』を置いてほしい」と延べ、山野市長は「やはり本物は素晴らしい。加賀友禅をしっかり紹介したい」と話した。



加賀友禅のランチョンマットとコースター

『珠姫てまり』市長に

石川県菓子工業組合青年部 金沢菓友会



珠姫てまり

県菓子工業組合金沢支部青年部「菓友会」の粟森剛会長ら5人は30日、市役所を訪れ、金沢百万石まつりに合わせて販売する和菓子「珠姫てまり」を山野之義市長に贈った。
珠姫てまりは、まんじゅうに手まり麩と金箔をあしらひ、手まりで遊ぶ珠姫の姿を連想させる。
加賀野菜の金時草やサツマイモを使ったものなど6種類あり、6月末まで市内24店舗などで販売される。

平成24年6月2日（土）／北國新聞朝刊掲載

シヨウブ2千本

刈り取る

和倉温泉旅館協同組合青年部

七尾市の和倉温泉旅館協同組合青年部の5人は1日、同市後島町で、菖蒲湯に使うためのシヨウブ刈りを行い、薫り高い約2千本を刈り取った。

参加者は晴天の下、シヨウブの束を次々と刈り取った。今後、同組合加盟の22旅館に配られる。和倉温泉は旧暦に合わせて4日夕方から菖蒲湯を行う。



シヨウブ刈りを行う青年部メンバー

平成24年6月3日（日）／北國新聞朝刊掲載

初夏の香り

菖蒲湯楽しむ

公衆浴場30店

石川県公衆浴場生活衛生同業組合

県公衆浴場生活衛生同業組合金沢支部は2日、市内の加盟店約30店で「菖蒲湯」を実施し、訪れた入浴客が初夏の香りを楽しんだ。

諸江町の銭湯「諸江の湯」では、男女それぞれの湯船に4キロ分のシヨウブが浮かび、爽やかな香りが浴場を包み込んだ。同組合によると、シヨウブには腰痛、神経痛を和らげる効果があるという。

平成24年6月9日(土) / 北陸中日新聞朝刊掲載

雑談がアイデアの母



伏見台商店街振興組合青年部

いれたてのおいしい
コーヒーの香りが漂い、お
菓子を囲みながらにぎやか
な会話が飛び交う一室。サ
ロン? いいえ。れっきとし
た「会合」だ。

約50店舗からなる伏見
台商店街(金沢市三馬、窪)。
商店街振興組合の青年部メ
ンバーは数年前から、毎週
木曜の夜に組合理事長の井
上正行さんが営む家具店
「たからや」に集まり、イ
ベントの構想や商店街の主
催行事の計画を進める会合
を開いている。

「街全体を盛り上げれ
ば、商店街も盛り上がる」
をモットーに、今夜も話に

花が咲く。目下の議題は、
今年で40回目を迎える、商
店街が毎年主催する夏祭り
だ。

青年部長で「とみた酒
店」店主の富田成一さんは、
商店街の中で最も元気な一
人。今回の夏祭りでは、商
店街以外の地域住民を巻き
込もうと、小学校のPTA
や老人会に出店を呼び掛け
る。

この地域のフリーマー
ケット開催を実現しようと
取り組んでいるのは、喫茶
店「喫茶のぼん」店主の山
口高志さん。いれたての
コーヒーのカップをメン
バーに手渡ししていく。

米や燃料を取り扱う「中
源商店」の中源雅幸さん、
看板や印刷を手掛ける「イ
ンプレスセ金沢」に勤務す
る池森大悟さんも、ちよ
く意見を挟む。

一見、議論は進んでい
るようにはみえない。「夏
祭りの冊子の広告を集めな
いと」「せっかくオリンピック
クランなんだし、表彰台を
作ったら面白い」「○○に
愛を叫ぶ」みたいなイベン
トやってみるか。方々で
「好き勝手な」雑談が行き
交っているからだ。

「そこがいいんだよ」と
井上さん。ここ数年の商店
街の若手店主らの活動の活

性化に目を細める。「きつ
ちりした『会議』じゃない
からこそ、議題以外のアイ
デアが出るんだ」

今までも「雑談」から
派生したアイデアが多く実
を結んできた。2010年
には、店主の「素顔」イラ
スト入りの商店街地図「素
マップ」を作成。地図を裏
返せば同時期に創刊した、
地域の行事や歴史などを掲
載した「伏見台新
聞」が現れる。「三
馬」の地名にちな
んだ子馬のキャラ
クター「三馬三兄
弟」も誕生。今年
は三兄弟をモチー
フにしたスタンプ
ラリーを実施し、
好評を得た。

「焦る必要はな
い。お互い努力を
続けることが大切
なんだ」と富田さ



伏見商店街のメインストリート

ん。「人の息遣いを感じら
れる、金沢の『下町』をつ
くりたい。住んで良かつ
たって言ってもらえるよう
な」と意欲をにじませる。

商店街の人たちが目指
すのは、人に優しい、会話
のある街。地域と一緒に、
少しずつ「これから」を積
み重ねていく。【通りのも
のがたり(三馬・伏見台地
区編)より】

平成24年7月7日（土）／北陸中日新聞朝刊掲載

そーつと金箔張り

～中央小児童が体験～

石川県仏壇商工業協同組合

金箔を皿などに張る体験学習が六日、金沢市立中央小学校であり、総合学習で伝統工芸を学んでいる四年生八十一人が真剣な表情で取り組んだ。金沢仏壇商工業

協同組合が毎年、市内約十校で催しており、この日は組合員七人が訪問した。

最初に塗師岡頭治理理事長が、金沢仏壇は約五百年の歴史があることを説明。製作には木に細工を施したり金箔を張ったりする七つの工程があり、それぞれ専門の職人が携わっていることにも触れた。

その後、児童たちは黒い皿に紙テープを使いながら思い思いに模様を描き、その上から金箔を丁寧に張った。

線で上から優しく押さえながらそーつとテープをはがし、模様を浮き上がらせた。

金箔が飛ぶのを防ぐため窓を開けられず、児童たちは熱気がこもった部屋で額の汗をぬぐいながら黙々と作業に打ち込んでいた。

乙村しずねさん（九つ）は「暑い中、職人さんが仕事をしているのが分かった。金箔を張るのは難しかったけれど、上手にできてよかった」とほかにんだ。

平成24年6月16日（土）／北國新聞朝刊掲載

金沢仏具に新風を 地域ブランド化へ、若手職人が研究会

金沢仏壇商工業協同組合青年部

金沢仏壇商工業協同組合の青年部有志が15日までに「金沢仏具研究会」を発足させた。蒔絵や塗りなどの高い技術力を生かした金沢独自の

仏具を制作し、地域ブランド化を目指す。現代の生活様式に合った新デザインの仏具も提案し、販路開拓につなげる。

金沢仏具には、仏前に置いて香華（こうげ）などを供える台「金沢三卓（さんしょく）」や経典を収める「和讃箱」、香炉、燭台、花立を一組とした「三具足」などがある。金沢仏壇と同様に、木工や彫刻、漆、金工など伝統工芸の技術の粋を集めて製造されてきた。

同組合によると、かつては仏具専門の職人が金沢仏具

を手掛けていたが、現在は、京仏具や高岡仏具など他産地や、中国からの輸入品やプラ

新デザインや小物類を提案

今後は毎月1度、勉強会を開き、仏具制作に携わってきた年配の職人から学びながら技術の継承や向上を図る。伝統的な仏具のほか、ミニ仏壇や家具型仏壇に適した新デザインの仏具、線香などを入れる香箱、遺骨を納めるペンダントなどの小物類も提案する。

加賀象嵌や加賀友禅、加賀縫いなど他の伝統工芸との連携した製品作りも進める予定で、2014年度をめぐりに、県内外の仏壇店や展示会でPRする。



金沢仏壇伝統工芸士の作業風景（いしかわの伝統工芸実演会より）

スティック製の大量生産品が市場の大半を占める状況となっている。研究会を発足させたのは、木地、塗り、箔彫、蒔絵の5人。仏壇の売り上げが減少する中、盛んに作られていた金沢仏具に光を当て、若い感性を取り入れた新たな製品を全国に発信する。

大竹外司朗代表は「新分野の開拓は、若手職人の活躍の場を増やすことにもつながる。質の高い『金沢仏具』を新たな地域ブランドに育てたい」と話した。

平成24年6月14日（木）／北國新聞朝刊掲載

被災地にトマトカレー

JA小松市、菓業青年会に提供

石川県菓子工業組合青年部 石川菓業青年会

石川菓業青年会のメンバーは15日、東日本大震災の被災者が暮らす福島県い



JA小松市をはじめとする大勢の方々からの被災地への気持ちを車に積み込んで出発！

わき市の仮設住宅を訪ね、小松特産のトマトやトマトカレーを振る舞う。小松の味で被災者を元気づける目的で、賛同したJA小松市が無償提供した。いわき市では、60人分のトマトカレーを調理し、小松のブランド米「蛍米」と一緒に被災者に振る舞う。このほか、トマト80個、トマトカレーのレトルトパック120個、2合入りの蛍米50パックも贈る。同会が支援する岩手県宮古市の菓子店が作るせんべい100

袋もプレゼントする。

現地を訪れるのは、同会事務局長の野村佳史さん（野村農産専務）ら2人で、小松を14日に出発し、15日にいわき市で活動する。16日未明に小松市に帰る。野村さんの父・善寛さん

（野村農産社長）が今月、いしかわ農業振興協議会長に就いたこともあり、社会貢献活動を進めることにした。野村さんと同JAは「小松の食材で一人でも多くの福島の人を笑顔にしたい」としている。

平成24年6月19日（火）／北國新聞朝刊掲載

一番茶で

『加賀の紅茶』市長に報告

茶レンジの会 石川県茶商工業協同組合

石川県茶商工業協同組合と加賀市の打越製茶農業協同組合でつくる「茶レンジの会」は、県産茶葉を使った和紅茶「加賀の紅茶」で、初めて一番茶を使用した商品を発表する。5〜6月に収穫する一番茶は葉が柔らかく、渋みが少ないのが特

徴。21日から県内の小売店などにお目見えする。18日、県茶商工業協同組合の織田勉理事長らが加賀市役所を訪れ、寺前秀一市長に商品化を報告した。織田理事長は「新茶で紅茶をつくるのは難しいが、質の高い出来栄となった」

と延べ、試飲した寺前市長は「和菓子などにぴったりな味。ブランド化の支援を考えた」と評価した。加賀の紅茶は、県中小企業団体中央会が支援し、2009（平成21）年に商品化された。毎年完売の人氣で、今年は前年の約2割増となる合計334キロの製品を販売する。このうち、一番茶は34キロ分で、20グラム420円で限定1,500個を販売する。



寺前加賀市長を訪問したメンバー

平成24年7月5日(木) / 北陸中日新聞朝刊掲載

Jr.商店街が応援

新豎町小の児童招待へ

豎町商店街振興組合

商店街が子どものオペラを後押し。子どもたちが主役の金沢ジュニアオペラスクール(KJOS)を応援しようと、金沢市の豎町商店街振興組合が八月の公演「ラジオスターレストラン—星の記憶—」の鑑賞券を百枚購入し、地元の新豎町小学校の児童たちを招待する。

みで次の世代を担う子どもたちを支援したい。ぜひ鑑賞してほしい」と寄付。上野邦昭校長は「伝統文化の盛んな金沢だが、オペラの公演は珍しく貴重な機会。子どもの感性を育てるため役立てたい」と感謝した。鑑賞券はオペラを楽しめる年齢を考えて三〜六年生と三年生に付き添う保護者らに配る。

気付いていく幻想的な物語。小学四年〜高校三年の二十七人が二年前から歌や演技を練習してきた。新豎町小の児童と卒業生も出演する。

オペラは宇宙を舞台に子どもたちが不思議な出会いを通じて地球の大切さを訪れ「まごころ

興組合と広坂振興会も購入を予定。市中部の商店街はポスターの掲示などPRにも協力する。公演は金沢歌劇座で八月十九日午後二時から。問い合わせは金沢芸術創造財団☎電話076(723)6888へ。

平成24年7月11日(水) / 北國新聞朝刊掲載

能登の『役者ぞろい』

協同組合のともん

能登の特産品販売業者らでつくる協同組合「のともん」は10日、輪島市河井町の温泉旅館「たなか」でフードアナリスト雅珠香さんを招き食談義を開いた。雅珠香さんは「能登の食材は役者ぞろい。オンリーワンの食文化を発信してほしい」と太鼓判を押した。

世界農業遺産「能登の里山里海」が育む豊かな食文化の魅力を探る狙い。能登牛や旬の魚介類、梅漬けを利かせたカルパッチョ、能登もすくと柚餅子の吸い物、地ビールなどが並び、田中孝一店主が料理を説明した。

本紙(北國新聞)夕刊で「あすかりんのきょうも満腹」を執筆する雅珠香さんは「山海の幸に加え、食材を引き立てる輪島塗、いしるといった発酵食もある。ポテンシャル(潜在能力)は高く、ブランド力をいかに引き出せるかが課題」と指摘した。

2012年は国際協同組合年です



国連では1957年より「国際年」を設け、共通の重要テーマについて、各国や世界全体が1年間を通じて呼びかけや対策を行うよう取り組んでおり、2009年12月に国連が総会において2012年を「国際協同組合年」とすることを決定しました。

これを受けて、わが国においては、2010年8月に「国際協同組合年全国実行委員会」を立ち上げ、協同組合の価値や協同組合が現代社会で果たしている役割等について広く国民に認知されるよう取り組みを行うとともに、協同組合運動を促進させる取り組みを行っています。

組合運営 Q&A

脱退を申し出た組合員の取扱等について(一)

Q1 自由脱退者の取扱について 中協法第18条により組合を脱退することができるが、その予告期限、脱退の時期等は中協法により90日前までに予告し、事業年度の終了日に脱退できるようになっている。

したがってそれまでは組合員の地位を失っていないから、その組合員も他の組合員と同様に議決権の行使、経費を負担する等の権利、義務を有するが、脱退者の申出の点についての効力と其の取扱い方について、

- (1) 1. A組合員5月10日に脱退の申出をした場合
2. B組合員7月2日に脱退の申出をした場合
3. C組合員12月30日に脱退の申出をした場合
- (2) 脱退申出の組合員が其の後の組合運営についての権利義務を主張し行使できるか否か。
- (3) 脱退者はその申出日以降組合賦課金の納入をせず期末迄見送ることになるが、その間の取扱い方について。
- (4) 脱退した組合員に対し期末に精算等の上、出資金の払戻をするが未納賦課金を其の際持分払戻する場合相殺して差支えないか。法第22条からして相殺することも妨げないと解されているか。

A1 設例の組合事業年度終了日が3月31日であれば、(1)の①～③は、いずれも90日の予告期間を満足させているので、脱退の申告があった日の属する事業年度末までは、組合員たる地位を失わないから、脱退の申出をしない組合員となんら差別してはならない。したがって、(2)についても事業年度末までの期間内は組合員としての権利義務を負わなければならないし、また(3)にいうごとく、賦課金を納入しないならば組合員としての義務を怠ることになり、除名、過怠金の徴収等の制裁も定款の定めにしたがって可能となるわけである。(4)については、脱退した組合員が組合に対して未納賦課金その他の債務を負っている場合は、組合は中協法第22条の規定による持分の払戻停止によって対抗でき、あるいは民法第505条の規定により払い戻すべき持分とその債務とを相殺することもできる。

脱退を申し出た組合員の取扱等について(二)

- Q2**
1. 中協法第18条に、組合を脱退するには「事業年度末90日前迄に予告し、年度末に脱退できる」とあるが、例えばある組合で為された決議が一部の業態の組合員に著しく不利で営業不能となる為、仮に9月1日に脱退を通告しても、翌年3月末日迄は脱退できないか、又その決議に拘束されるか。
 2. 組合員が転廃業して組合を脱退したが、1カ月又は2カ月後再び元の事業を始めた場合、前に加入していた組合の拘束を受けるか。

- A2**
1. 中協法第18条に自由脱退の予告期間及び事業年度末でなければ脱退できない旨を規定した趣旨は、その年度の事業計画遂行上、組合の財産的基礎を不安定にさせないためであるから、設例のような場合、即ち9月1日に脱退を予告しても翌年3月末日迄は脱退できない。従ってその間、除名されない限りは依然組合員であるから決議にも拘束されるし、組合員としての権利を有し、義務を負わなければならない。
 2. 組合員が転廃業をすれば、組合員資格を失い、法定脱退することになるので、組合員資格としての事業を再開しても、直ちに組合員となるわけでないから、その組合の拘束を受けることはない。

ご確認ください！

金沢地方法務局 不動産登記／商業・法人登記の管轄区域一覧

代表理事の変更登記や出資金額変更登記などはお済みですか？ 協同組合等法人の変更事項に関する登記の窓口は金沢地方法務局（本局）のみで取り扱われていますので、ご注意ください。

庁名	不動産登記管轄区域	商業・法人登記管轄区域
本局（代表）	金沢市 かほく市 白山市 野々市市 能美郡（川北町） 河北郡（津幡町，内灘町）	石川県内全市町
小松支局	小松市 加賀市 能美市	各種証明書交付事務，印鑑提出等に関する事務，印鑑カードに関する事務，電子認証に関する事務のみの取扱いとなります。
七尾支局	七尾市 羽咋市 羽咋郡（志賀町，宝達志水町） 鹿島郡（中能登町）	各種証明書交付事務，印鑑提出等に関する事務，印鑑カードに関する事務，電子認証に関する事務のみの取扱いとなります。
輪島支局	輪島市 珠洲市 鳳珠郡（穴水町，能登町）	各種証明書交付事務，印鑑提出等に関する事務，印鑑カードに関する事務，電子認証に関する事務のみの取扱いとなります。

Pick up ! 全国の先進組合事例

=平成23年度組合資料
収集加工事業報告書より=

地場産業

石川県九谷陶磁器商工業協同組合連合会

九谷焼の未来を運ぶカブトムシ

時代の変化に対応できず産業として苦戦を強いられている九谷焼に危機感を持った問屋、窯元、絵付職人の有志が九谷塾として立ち上がり、世界に九谷焼の魅力を発信する。

住所 〒923-1121 石川県能美市寺井町よ25番地
TEL 0761-57-0125 FAX 0761-57-0320
組織形態 産地組織 地区 石川県
組合員数 6人 組合専従者 2人

URL <http://www.kutani.or.jp/rengoukai>
設立 昭和36年6月 出資金 2,500千円
組合員資格業種 窯業・土石製品製造業

背景と目的

石川県の伝統工芸の九谷焼は、古来より分業での作陶が主である。問屋を介して窯元が素地を作成し、その素地に絵付職人が加飾（絵付）を行い、一つの作品が完成する。この工程の複雑さが九谷焼の魅力といえる。しかしその複雑さゆえに時代の急激な変化に対応できず、現代の生活様式にあった作品を生み出せず産業として苦戦を強いられている。

こうした中で「何か行動を起こさなくては」という危機感を持った人間が石川県九谷陶磁器商工業協力組合連合会の中で有志として集い、2008年に「九谷塾」が誕生した。「九谷塾」は、プロデュース能力を持つ問屋、類まれな造形技術を持つ窯元、そして伝統に培われた彩色技法を有する絵付職人が、同じステージで共通のコンセプトのもとに「今の時代に語りかけることができるモノ」「350年続いてきた九谷焼の歴史を後世に承継することができるモノ」を創造している集団である。

事業・活動の内容

「九谷塾」の1年目は石川県伝統産業新商品研究開発事業費補助金「将来のライフスタイルの研究における九谷焼の新商品開発、販売開拓事業」に応募し採択を受けた。2年目は「九谷焼の図様、造形にこだわったものづくり」「新規性、インパクト、驚き、感動のあるものづくり」「品よく、文化の蓄積が香るものづくり」のコンセプトのもと、九谷焼のカブトムシ・クワガタを作成した。更に玩具メーカー、タカラトミーの全面協力のもと、所ジョージ氏の協力も得ながら九谷焼のチョコQを制作した。3年目にはカタツムリを発表し、九谷焼業界やデザイン関係者に高い評価を得ている。また、NHKはじめ各種マスコミに取り上げられ幅広い年代層の支持を受け、現在も各種催事や展示会からの出展依頼が絶えない。

成果

現在の最新技術を最大限に活かし、これまでにない造形物を作ることで話題性、嗜好性に富んだ九谷焼が各方面から高い評価を得ることができた。今後も「九谷塾」ブランドの斬新な製品を通じて積極的な情報発信を行い、九谷焼の素晴らしさを日本内外に訴求する。九谷焼が発展することで地域が活性化し、それが九谷焼をはぐくんでくれた石川県に元気と活力をもたらせることをめざしたい。



九谷焼カブトムシ(金襴 赤絵小紋)



九谷塾の定例会議風景

共同仕入・
共同購入

丹後機械工業協同組合

共同購入と調達業務代行により根底より組合員を支える

組合員の短納期への対応力、コスト競争力そして品質向上を基盤から支えることで、丹後地域のものづくり産業を支える重要拠点として機能している。

住所 〒627-0042 京都府京丹後市峰山町長岡1620-1

URL <http://tango-tc.jp/>

TEL 0772-62-0263

FAX 0772-62-6176

設立 昭和23年10月

出資金 94,543千円

組織形態 同業種同志型組合

地区 京丹後市、与謝郡、宮津市

組合員資格業種 金属加工業機械類修理業

組合員数 106人

組合専従者 10人（うち専従理事2人）

背景と目的

当組合は、京阪神からのアクセスが悪い丹後地域において、調達のしにくい各種材料や工具の共同購入を目的とし、昭和23年に設立した組合である。

現在では、交通の便が設立当初よりも大きく改善し、上記のような地理的なデメリット克服を目的とした事業活動から、煩雑な調達先との交渉機能及び調達業務のオペレーション代行というような機能面での支援をコアとした共同事業となっている。

主要設備の事務棟、第一工場棟、第二工場棟および高圧ガスボンベ庫に加え、関連施設として協同組合丹後熱処理センターや高周波熱処理装置等があり、施設全体として技術集積を図ることで多様なニーズに対応する体制を整えて組合員支援を行っている。

事業の内容

事業の中心は、共同購入と調達業務のオペレーション代行機能である。

当組合の業務は、共同購入というよりも、調達オペレーションの共同化により、組合員の業務軽減を支援するという性格を持ち、組合員の要望に基づき鋼材メーカー等との折衝を代行している。

調達方法は、鋼材の値上がりが見込まれるアイテムやコンスタントな受注が見込めるアイテムを中心に「鋼材の種類」「含有物質の内容」「サイズ」「直径」別に常時数千アイテムを在庫する在庫対応型と、含有する物や比率の違いに対応するオーダーメイドのアイテムを中心とする受注発注型の2つの調達方法を駆使し、組合員のニーズに対応している。また、組合員の一次加工への対応もニーズが高く、指定寸法に切断加工して納品するという加工型の対応も行っている。

成果

要望価格や短納期要請への対応が組合員の円滑な生産活動に寄与し、共同購入額は平成22年度に612,531千円にまで高まっており、品目別には鋼材関係57%、工具関係43%となっている。リーマンショックや東日本大震災の影響が懸念されているが収益性は安定しており、10%程度の利益率を維持している。

組合員においても、コスト競争力や短納期対応力が実現し、関連施設の協業組合丹後熱処理センターにより、熱処理機能を持たない組合員が材料の強度を上げるなど品質向上にも寄与している。



組合ホームページ

決算関係書類等の届出をお忘れなく！

組合には、法律により認可・届出を要する事項が定められています。定款変更には認可が必要で、決算関係書類や役員変更には届出が必要です。

決算関係書類の提出

通常総会終了後2週間以内に、決算関係書類（事業報告書・財産目録・貸借対照表・損益計算書・剰余金処分案又は損失金処理案とそれらを承認した総会議事録）に届出書を添えて各所管行政庁へ提出しなければなりません。

※決算関係書類の提出を怠った場合、行政庁による検査等の対象になります。

役員変更の届出

役員の変更（氏名・自宅の住所の変更、選挙・選任による変更）があった場合には、その変更のあった日から2週間以内に、役員変更届（変更のあった事項を記載した書面並びに変更の年月日及び理由を記載した書面、その他の議事録等必要書類）に届出書を添えて各所管行政庁へ提出しなければなりません。

なお、前役員全員が再選された場合のみ、各所管行政庁への役員変更の届出が省略可能となります。

代表理事の変更登記申請

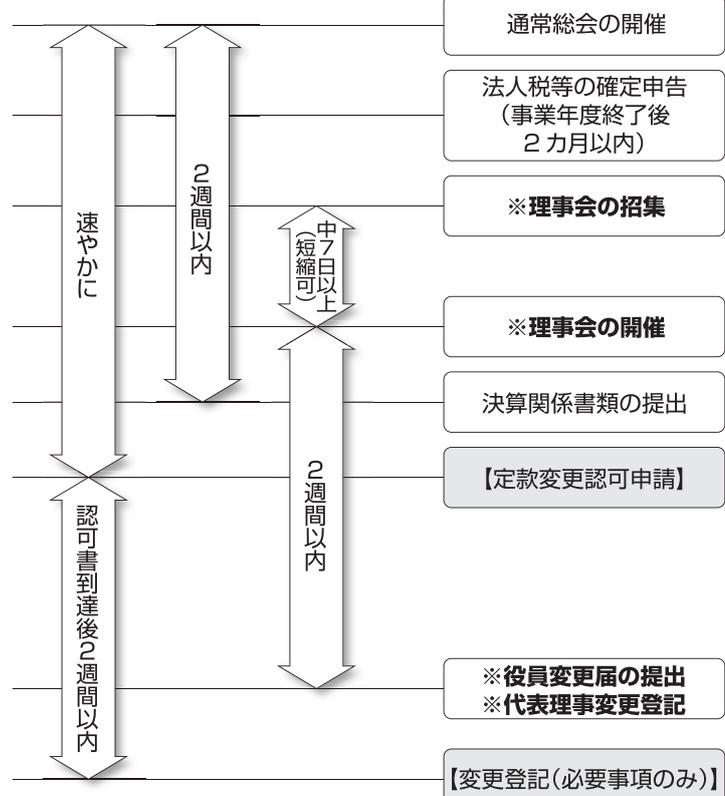
代表理事の変更（同一人物が代表理事に再選任された場合を含む）があった場合、代表理事が就任した日から2週間以内に登記事項を管轄の法務局に登記しなければなりません。

定款変更の認可申請

定款変更を総会で決議した場合には、所管行政庁の認可を必要とします。また、その内容によっては総会決議前に所管行政庁との協議が必要となる場合もありますので、事前にご相談下さい。

各提出書類につきまして、ご不明な点がございましたらお気軽に中央会までお問合せ下さい。

■通常総会終了後のスケジュール



- 上記※に関しては、役付役員の選任があった場合のみ
- 上記の【】記載は定款変更があった場合のみ

TEL 076-267-7711 URL <http://www.icnet.or.jp>

組合運営 検索

※各様式等は中央会ホームページよりダウンロードいただけます。

夏の思い出をひときわ鮮やかに彩ろう。

いしかわの伝統工芸実演会 夏休み特別企画 「加賀友禅 彩色体験教室」

～参加申込み受付中（無料）～

5月から土日を中心に実施している「技で魅せるいしかわの伝統工芸（伝統工芸品実演会）」が8月の夏休み期間中にパワーアップ!! 加賀友禅の彩色体験教室を下記のとおり開催します。どなたでもお気軽にご参加いただけます。

JR金沢駅でいしかわの伝統工芸を体験してみませんか？

日 時	8月5日(日)、12日(日)、19日(日)、26日(日) 11:00～、14:00～（1日2回）
会 場	金沢ステーションギャラリー JR金沢駅（みどりの窓口奥）
体験内容	手描き友禅彩色体験（ハンカチ）
所要時間	30分～60分

☆参加ご希望の方は下記までお申し込み下さい。予約優先、空きがあれば当日参加もできます。



昨年体験教室の様子

たくさんのご参加
お待ちしております。

お申し込み・お問い合わせ

石川県中小企業団体中央会 情報企画課
金沢市鞍月2丁目20番地 電話 076-267-7711

主催：石川県中小企業団体中央会
共催：協同組合加賀染振興協会

個別専門相談室開催のご案内

本会では、中小企業が正確な経営情報を獲得し、適切な経営判断を支援するため、組合、中小企業任意グループ及び公益法人等を対象とし、専門家を招聘し、事業運営等の相談に応ずることを目的とした個別専門相談室（無料）を設けておりますのでお気軽にご相談下さい。

相談は予約制（30分ごと）のため、希望の方は当日までに本会へご連絡願います。また、予約多数の場合は、相談時間の短縮をお願いする場合がありますので予めご了承下さい。

* 連絡先 総務課 TEL 076-267-7711

《日 程》

開催日	時 間	内 容	専門相談員
8月 7日(火)	10:00～12:00 13:00～15:00	税 務・経 営 相 談 法 律 相 談	税 理 士 坂井 昭衛 弁 護 士 久保 雅史
9月14日(金)	10:00～12:00 13:00～15:00	税 務・経 営 相 談 法 律 相 談	税 理 士 坂井 昭衛 弁 護 士 久保 雅史

《場 所》

金沢市鞍月2丁目20番地

石川県地場産業振興センター新館5階 石川県中小企業団体中央会 会議室

第27回組合交流ゴルフ大会開催のご案内

会員相互の親睦を図るために毎年恒例のゴルフ大会を下記により開催することといたしました。多数のご参加をお待ちしています!! ※詳しいご案内は後日、お送りいたします。

- と き/9月28日(金) 9:27スタート
- と ころ/朱鷺の台カントリー倶楽部 眉丈台コース(羽咋市柳田町)
- 参加会費/5,000円(プレー費は個人負担)
- プレー代/11,000円
(ビジター:キャディフィ・カートフィ・税込)
昼食除く 各自でご精算ください
- 競技方法/18ホールストロークプレイ
(ダブルペリア方式)
- 問合せ先/総務課 TEL 076-267-7711



朱鷺の台カントリークラブ

被災地復興支援！ 岩手県中小企業団体中央会からのPR

岩手県中央会の会員組合である『協同組合盛岡卸センター』では、岩手県内の企業が元気になることによって、少しでも被災地の復旧・復興の支援になればと、県産品、特産品、お土産などを紹介するホームページを開設していますのでご紹介します。

下記URLよりアクセスしていただき、ご希望の商品がありましたら、是非ご購入いただければ幸いです。

**岩手の県産品を全国に紹介！
復旧・復興支援サイト！**
URL : <http://morioka-oroshi.seesaa.net/>

協同組合盛岡卸センターホームページ
URL : <http://www.morioka-oroshi.jp/>



第64回中小企業団体全国大会(宮崎県)参加者募集!

1. 全国大会開催概要

- 日 時 平成24年10月25日(木)13:00~16:40
- 場 所 フェニックス・シーガイア・リゾート「シーガイアコンベンションセンター」
- 大会スローガン 「組合 絆 ルネサンス 日本は一つ」

2. 大会参加旅行日程表

○旅 程 平成24年10月24日(水)~26日(金) 【2泊3日】

月 日	コ - ス	食事
10/24 (水)	小松空港 11:30発 ===== 羽田空港 12:40着 13:30発 ===== 宮崎空港 15:10着 ===== 青島(鬼の洗濯岩・青島神社) 16:00着 ===== JR九州ホテル宮崎(泊) 17:30着 ===== 夕食(宮崎市内) 18:00~	朝:一 昼:一 夕:○
10/25 (木)	ホテル発 8:30発 ===== 鶴戸神宮 9:40着 10:30発 ===== 全国大会参加 13:00~16:40 (泉谷しげるトークライブ13:00~14:00) ===== ホテル到着 17:30着 ===== 夕食(宮崎市内) 18:30~	朝:○ 昼:○ 夕:○
10/26 (金)	視察見学及び昼食 ホテル発 8:00発 ===== 宮崎県畜産試験場 9:00着 10:00発 10:40着 ===== 霧島酒造株式会社 芋焼酎製造工場視察及び昼食 12:30発 ===== 都城 島津邸 12:40着 13:30発 ===== 宮崎空港 14:30着 15:30発 ===== 羽田空港 17:05着 18:00発 ===== 小松空港 19:00頃着予定	朝:○ 昼:○ 夕:一

*旅程については、道路事情や諸般の事情により変更することがあります。

(大会会場)
シーガイアコンベンションセンター



(視察先)
霧島酒造株式会社 芋焼酎製造工場 (宮崎県都城市)



霧島酒造は、2011年5月に創業95周年を迎えた会社です。志比田増設工場は、長きに渡り培ってきた伝統の技と最新鋭の技術が融合された工場です。この工場では、本格芋焼酎「霧島」、「黒霧島」の製造工程を見学することができます。

工場のある敷地は「霧島ファクトリーガーデン」として整備され、霧島酒造(株)の発信基地「産業・文化・ふれあいの施設が融合したガーデンパーク」として広く一般に開放された施設となっており、敷地内には、本格焼酎の醸造施設をはじめ、文化施設、イベント・スポーツ施設、レストラン施設など、さまざまな施設が展開されています。

3. 旅行費用

お一人様 **99,800円**

(大会参加費(5,000円)、旅程内交通費・食事・宿泊(シングルルーム)を含む。)

- * おって、大会参加費及び旅行費用を前納頂きますことを予めご了承願います。
- * 旅行費用については、できるだけご負担が少なくなるよう行程等に工夫しております。
人数の増減により多少変更することがあります。
- * お申込後の取消し等の場合、取消し料等を頂く場合がございますので、あらかじめご了承願います。

無料で専門家を派遣します。

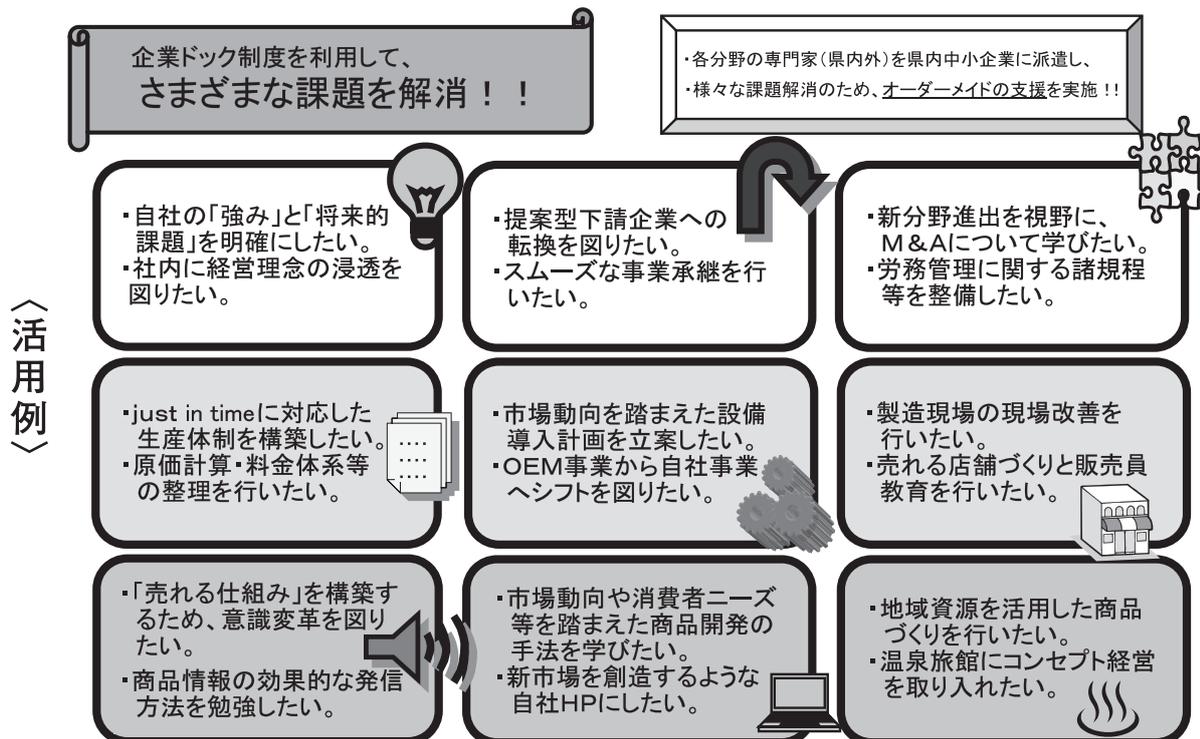
お気軽にご活用ください！

企業ドック推進事業

企業の様々な課題解決に**無料**で専門家を派遣します！

今年度も引き続き、企業ドック事業「外部専門家派遣」を実施しています。

1事業者あたり各4回程度、無料で必要な専門家を派遣する事業です。様々な課題解決のために、是非、ご活用ください！



中小企業支援ネットワーク強化事業

アドバイザー（中小企業診断士）による相談窓口を開設中です！

本会が昨年度から参加している、経済産業省の「中小企業支援ネットワーク強化事業」は、月に15日間程度、中小企業診断士を本会窓口を設置し、中小企業の経営革新、地域資源活用・農工商連携等といった新事業展開、創業、事業再生、事業承継、ものづくり支援、新たな経営手法への取り組みといった高度・専門的な課題に対応することにより、中小企業者が中長期的に発展するための経営基盤強化を図ることを目的としています。

- 開設期間 平成24年4月～平成25年3月
- 開設場所 本会事務所内
- 開設時間 平日 9:00～17:00
※事前にお問い合わせください

県内の情報連絡員報告

平成24年

6月

- 平成24年6月期において、DI値で見ると、昨年同月比をもとに前月との増減を比べた場合、「販売価格」を除く8項目で悪化を示しており、うち「設備操業度」など5項目で2桁の落ち込みが見られるなど大変厳しい状況であった。これは、先月まで好調であった製造業において好転した項目が見られず、中国経済の減速などにより鉄工・機械関連でこれまでの様な力強さが見られなくなったこと、また、非製造業においては、季節的な沈滞ムードや観光客の減少（国内・国外共に）などが要因になったと考えられる。
- 製造業においては、「在庫数量」と「雇用人員」を除く7項目で悪化が見られ、改善した項目はなかった。特に「収益状況」・「設備操業度」・「業界の景況」は2桁の落ち込みであった。6月はどの業種も比較的閑散期のようなのだが、今年は特に落ち込みが激しいという声が多かった。その要因としては欧州信用不安の長期化とそれに伴う中国などの新興国経済の減速、円高の長期化による競争力の低下などが考えられる。ただ、厳しさの目立つ結果であったが、自動車や電子機器向けの金属製品・一般機械器具製造業（部品加工）は好調であったため、今後の推移に期待したいところである。
- 非製造業においても、「販売価格」と「収益状況」を除く6項目で悪化した。これは、商店街やホテル旅館などにおいて低調に推移していることなどによるものと考えられる。特に観光関連においては、円高による国外旅行の増加や国内でも観光地の分散化が進み、観光客が減少しているとのことである。なお、今月も好調を維持できた自動車整備・販売業においても、エコカー補助金の終了に伴う反動減を懸念している模様である。
- 金融円滑化法が終了となった場合の影響については、「影響を受けない」との回答がやや多かったものの、「受ける」とほぼ拮抗した結果であった。ただ、業種別に見てみると、「影響を受ける」との回答は製造業で3割弱に留まる一方、非製造業では6割強を占めており、非製造業者の方が終了に危機感を抱いていることがうかがえる。なお、具体的な影響としては、「条件変更に対応してもらえなくなる」など金融機関の融資姿勢の悪化を危惧する声が多かった。
- 再生可能エネルギーの固定価格買取制度による電気料金上昇については、再生可能エネルギーの必要性や普及・拡大などについては一定の理解は示されているものの、ほとんどの業種にとっては経費負担の増加に繋がると考えられており、これまでも経費の削減に努めてきている中では更なる節電に努めるとの回答が大多数を占めた。また、電力会社の買取上乗せ分を安易に価格転嫁する姿勢に不満をい多く聞かれた。
- 今夏の節電対応については、「計画を検討中」が58.3%と最も多く、具体的に「計画している」は約14%に留まる。概ね、昨夏と同様に強制的な節電要請がなされていないことなどから、需給状況への危機意識は薄く、「節電」という意識よりも“コスト削減の手段”として取り組まれている傾向が強い模様である。また、取り組み内容についても、消灯や空調の温度調整といったものがほとんどであり、生産や就業形態を変更させるなどの計画はごく少数に留まった。

平成24年

6月期

景況天気図

前年同月比

	全 体	製造業	非製造業
売上高	-32.8 (-10.4)	-25.8 (-9.7)	-40.7 (-11.1)
在庫数量	-8.5 (-2.1)	3.2 (0.0)	-31.3 (-6.3)
販売価格	-22.4 (0.0)	-19.4 (-6.5)	-25.9 (-7.4)
取引条件	-29.3 (-10.3)	-32.3 (-9.7)	-25.9 (-11.1)
収益状況	-44.8 (-6.9)	-45.2 (-12.9)	-44.4 (0.0)
資金繰り	-27.6 (-10.4)	-22.6 (-3.2)	-33.3 (-18.5)
設備操業度	-22.6 (-22.6)	-22.6 (-22.6)	-
雇用人員	-19.0 (-5.2)	-16.1 (0.0)	-22.2 (-11.1)
業界の景況	-44.8 (-12.0)	-45.2 (-19.4)	-44.4 (-3.7)

※ () 内の数字は前月とのポイント差

全体の景況感

※主要3項目(売上高・収益状況・業界の景況)の平均値



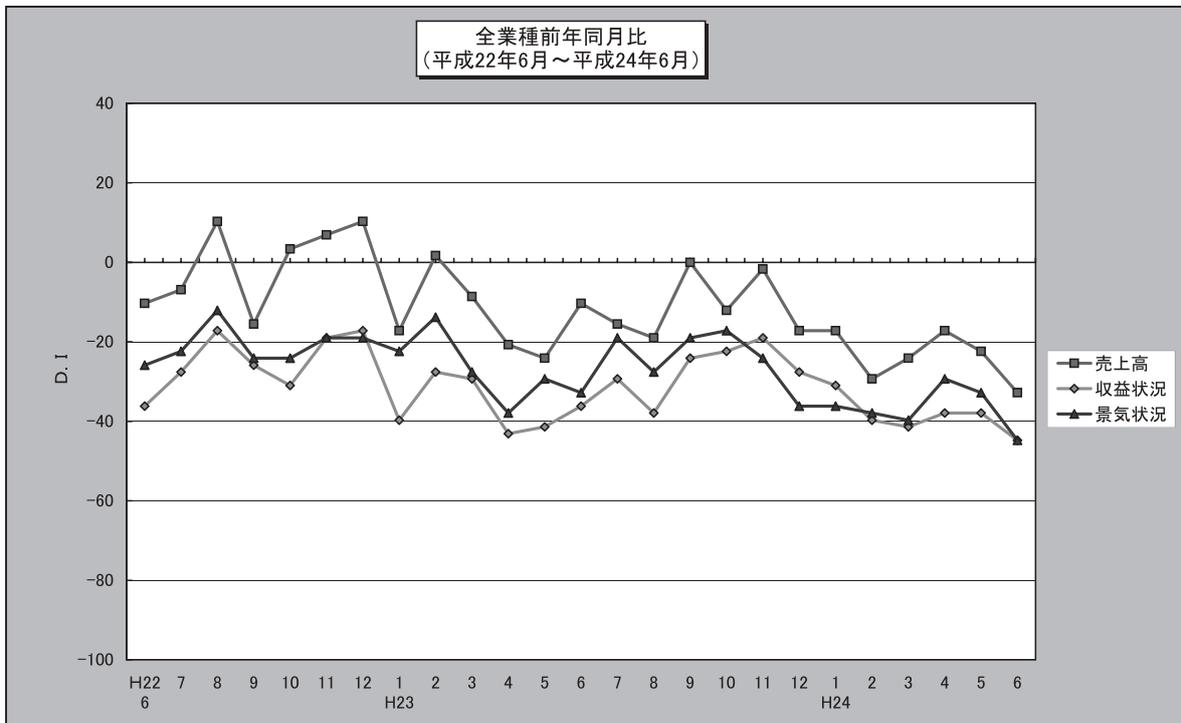
大雨
-40.8

天気図の見方

各景況項目について「増加」(又は「好転」との回答を頂いた業種割合から「減少」(又は「悪化」との回答を頂いた業種割合を引いた値をもとに作成しました。その基準は次の通りです。

快晴 25以上	晴れ 10~25 未満	曇り 10未満~ -10未満	雨 -10~ -25未満	大雨 -25以下

景況の推移 (前年同月比) 石川県分 (主要3項目)



平成24年度
中小企業組合
検定試験

検定試験を受けて
組合士になろう!

JUST TRY
2012 **12.2**
〈 SUN 〉

1 組合 1 組合士
組合のあしたを拓く組合士

■ 受験資格

特になし
(ただし、組合士として認定されるには
組合等での実務経験が必要です。)

■ 試験科目

● 組合会計 ● 組合制度 ● 組合運営

■ 試験日

平成24年12月2日(日)

■ 試験地

札幌、青森、仙台、秋田、郡山、さいたま、
東京、長野、静岡、名古屋、大阪、
松江、岡山、広島、山口、高松、福岡、
長崎、大分、宮崎、那覇

■ 願書受付期間

平成24年9月3日(月)~10月15日(月)

■ 受験料

5,000円
(一部科目免除者は3,000円)

■ その他

お申し込み方法など詳しいことは、最寄りの
都道府県中小企業団体中央会にお問い合わせ下さい。

■ お問い合わせ先

都道府県中小企業団体中央会
全国中小企業団体中央会
TEL.03-3523-4905
<http://www.chuokai.or.jp>

主催 /  全国中小企業団体中央会 後援 / 中小企業庁 協力 / 都道府県中小企業団体中央会

くみWai広場

こんにちは

事務局さん

金崎真理子さんと
わくたまくん



和倉温泉旅館協同組合事務局

仕事の内容を教えてください

金崎さん：一般事務とわくたまくんグッズ開発やイベント出向宣伝です。

わくたまくん：和倉温泉のPR。たくさんのお客様に和倉温泉に来てもらいたいのでPRに出かけたり、ブログやツイッターで情報を発信したりしているよ。

「座右の銘」「好きな言葉」は何ですか？

金崎さん：「待てば海路の日和あり」

わくたまくん：「ワクワク、ランラン、ゆっくり過ぎそ。」

最近、「1番うれしかったこと」は何ですか？

金崎さん：わくたまくんのファンになってくださった方が、和倉温泉にお越しいただけたこと。

わくたまくん：ぼくが参加するイベントに遊びに来てくれること。和倉温泉へも会いに来てくれること。新しいグッズができれば和倉温泉に買いに来てくれること。

組合のPRをお願いします

金崎さん：開湯から約1200年の歴史ある和倉温泉。潮の香りがする小ぢんまりとした街でのんびり過ごしてみませんか？お待ちしております。

わくたまくん：和倉温泉は穏やかな海を眺められてのんびりできるところだよ。

ぼくの産まれた和倉温泉に遊びに来てね☆



わくたまくん Facebook

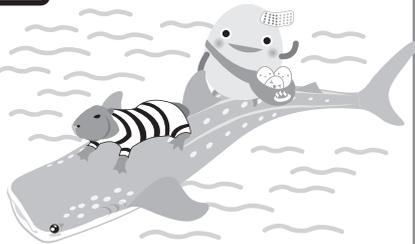
検索

当コーナーに登場していただける事務局さんを募集中です！
自薦、他薦は問いませんので、中央会事務局まで連絡をお待ちしています！

From 編集室

ロンドン五輪が開幕しました。8月8日からは“夏の甲子園”が開幕します。普段はあまり興味がない競技でも、日本選手や石川県の代表校の試合を見て、その応援には熱が入りますね。この原稿を考えている時点では今年の夏は猛暑になると天気予報士の方が話していました。

1番開放的な気持ちになれる季節・夏。みなさん、応援やレジャーに旅行など、たくさんのいい思い出ができるといいですねo(^o^o) ワクワク



Q プレゼントクイズ

和倉温泉は開湯から〇〇〇〇年の歴史があります。

〇にあてはまる4けたの数字をお答え下さい。

正解者の中から5名の方に抽選で、

和倉温泉の天然ミネラル入り洗顔石鹸「あわわやわわ」をプレゼントします!!

「開湯〇〇〇〇年」

編集者E

この一言、あの名言

- ・世間は活きている、理屈は死んでいる。
- ・負けても終わりにゃない。でも、やめたら終わりだ。
- ・愚者はまぐれ当たりを自慢し、賢者はミスショットから多くを学ぶ。
- ・「スコットランドのことわざ」
- ・「林 真理子」
- ・「アン・シャリー」
- ・「勝 海舟」
- ・「リチャード・ニクソン」
- ・「明日がまだ何ひとつ失敗をしない、新しい日だと思おうと嬉しくない？」

今後、よりよい誌面づくりを行うために読者の皆さんからのご意見、ご要望をお伺いしたいと思いますので、同封のプレゼント付き読者アンケート回答へのご協力をお願いします。少しでも多くの“声”をお待ちしています。

回答は中央会 **FAX : 076-267-7720** までお送り下さい。